

イネ科牧草病害文献目録

誌名	牧草病害編
ISSN	
著者名	
発行元	農林統計協会
巻/号	8号
巻号補足	
掲載ページ	p. 487-531
発行年月	1981年3月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



B イネ科牧草病害文献目録

1. 阿部二郎(1977)牧草の越冬性に関する諸要因、育種学最近の進歩 **18** : 67-75
2. 阿部又三(1944)麦角菌に関する研究(第1報の1)形態学的研究(其の1)分生胞子の大きさに就て(I)、日農化誌 **20** (5) : 275-282
3. 阿部又三(1944)麦角菌に関する研究(第1報の2)形態学的研究(其の2)分生胞子の大きさに就て(II)、日農化誌 **20** (6) : 353-358
4. 阿部又三(1944)麦角菌に関する研究(第1報の3)形態学的研究(其の1)分生胞子の大きさに就て(III) 日農化誌 **20** (7) : 405-410
5. 阿部又三(1944)麦角菌に関する研究(第2報)形態学的研究(其の2)分生胞子形成能に就て、日農化誌 **20** (10) : 513-521
6. 阿部又三(1946)麦角菌に関する研究(第5報)形態学的研究(其の5)分類学的考察、日農化誌 **21** (1) : 9
7. 阿部善三郎(1968)芝生地の土壤伝染性病害の防除法、農および園 **43** (4) : 698 (問答)
8. 鑑谷大節・赤井 純(1964)芝草の雪腐菌核病とその防除について、北海道農試彙報 **84** : 52-64
9. 赤井 純・鑑谷大節(1963)芝草の雪腐病について、日植病報 **28** (5) : 304 (講要)
10. 赤井 純・桑山 隆・鑑谷大節(1965)ゴルフ場芝草の雪腐病防除、日植病報 **30** (5) : 283-284 (講要)
11. 赤井重恭・福富雅夫(1959)黄化萎縮病罹病植物の外部形態変化、病虫害発生予察特別報告 **3** : 61-75
12. 赤井重恭・福富雅夫(1964)黄化萎縮病罹病越年性禾本科植物におけるmasking現象とchlorophyll 含量の消長ならびに繁殖器官形成、病虫害発生予察特別特別報告 **3** : 61-75
13. 葵 一八・内村忠道(1962)九州の中部平坦地および高冷地人工草地における飼料作物の病害発生状況、九州農業研究 **24** : 154-155
14. 葵 一八・松本 聡(1962)イタリアンライグラスの系統比較試験、九州農業研究 **24** : 196
15. 荒木隆男・島貫忠幸・佐藤倫造(1971)オーチャードグラス株枯症の発生について(予報)、日植病報 **37** (3) : 175 (講要)

16. 荒木隆男・佐藤倫造・島貫忠幸(1971)ベントグラス雪腐病に対する 2, 3 の有効薬剤について. 日植病報 37(5): 406-407 (講要)
17. 荒木隆男・島貫忠幸・尾崎政春(1974)道東地方に発生したイネ科牧草褐色雪腐病について. 日植病報 40(2): 117 (講要)
18. 荒木隆男(1975)北海道における牧草雪腐病の多発. 植物防疫 29(12): 484-488
19. 荒木隆男(1976)寒地型芝草の病害概況. 芝草研究 5(1): 18-19
20. 荒木隆男(1977)雪腐病(スノーモールズ病), 日本芝草研究会編 総説芝生と芝草. 480p. ソフトサイエンス社. 東京. p. 256-258
21. 荒木隆男(1978)チモシーがまの穂病菌とその発生. 日植病報 44(1): 76 (講要)
22. 荒木隆男(1979)飼料作物病害の現状と問題点-特に寒冷地を中心にして. 植物防疫 33(3): 121-125
23. 明日山秀文(1935)異種寄生性 *Puccinia* の生活環. I. カモジグサの黒稈銹菌及びシバの銹菌. 日植病報 5(1): 23-29
24. 明日山秀文(1935)日本産かもじぐさ属植物=寄生スル銹菌=就テ(其一). 植研雑 11(2): 123-131
25. 江原 薫(1958)飼料作物学(下巻). 567p. 養賢堂. 東京
26. 遠藤 茂(1938)日本ニ於ケル白絹病菌ノ寄主目録補遺. 宮崎高農學術報告 10: 65-82 (英文)
27. 藤黒与三郎(1914)台湾培養植物の寄生菌目録(1). 植雑 28(333): 391-396
28. Fujioka, Y. (藤岡保夫) (1952) List of crop diseases in Japan. Economic and Scientific Section, Natural Resources Division Preliminary Study No. 73. Vol. I. GHQ 212p. Tokyo Japan.
29. 藤岡保夫(1962)広島県下の有用植物の病原菌目録. 日菌報 3(1-6): 61-66 (英文)
30. 藤岡保夫(1970)芝に病気を起こす *Curvularia* sp. の孢子型について. グリーン研究報告集 18: 35-40
31. 福士貞吉(1944)北地麦類萎縮病について(1). 農及園 19(11): 955-958
32. 福士貞吉(1944)北地麦類萎縮病について(2). 農及園 19(12): 1047-1051
33. 福代和子・古田 力(1967)ダリスグラス麦角病の菌核に対する薬剤処理について. 中国農業研究 36: 54-56
34. 福代和子・古田 力(1968)ダリスグラス麦角病の施肥量と発病との関係. 日植病報 34(3): 182 (講要)
35. 福代和子(1969)ダリスグラスの開花習性と麦角病発生に関する 2, 3 の知見. 日

- 草誌 15(1) : 87. (講要)
36. 福代和子(1970)ダリスグラス麦角病の発生生態と防除法. 日草誌 16(1) : 64 (講要)
 37. 福代和子・古田 力(1970)ダリスグラス麦角病の発生生態と防除. 中国農試報告 E, 6 : 91-110
 38. 福富雅夫・朴 杓允・津田盛也・上山昭則(1976)ピリクラリア属菌完全世代の子のう殻中の子のうおよび子のう胞子壁の微細構造(予報). 日菌報 17(1) : 74-76 (英文)
 39. 舟山広治・山貫重夫・平野トシエ(1961)1種のイネ菌核病について(予報). 日植病報 26(5) : 233-234 (講要)
 40. 舟山広治・平野トシエ・成田武四(1962)マウンテンブROOMグラスおよびスームスブROOMグラスの細菌寄生病2種. 日植病報 27(2) : 92-93 (講要)
 41. 舟山広治・平野トシエ・成田武四(1962)マウンテンブROOMグラスの褐条病について. 北日本病虫研会報 13 : 74-75
 42. 舟山広治・成田武四・平野トシエ(1962)スームスブROOMグラスの量枯病について. 北日本病虫研会報 13 : 76-77
 43. 舟山広治(1971)日本植物病原細菌目録. 64p. 著者出版. 旭川市.
 44. 後藤寛治(1969)個体植えによるオーチャードグラス品種の評価. 北海道農試彙報 94 : 79-92
 45. [後藤寛治](1969)昭和44年度の新品種解説, オーチャードグラス「キタミドリ」. 農業技術 24(9) : 432
 46. 後藤和夫・山中 達(1960)ハルガヤ (*Anthoxanthum odoratum* L.)のイモチ病. 日植病報 25(1) : 48 (講要)
 47. 後藤 誠(1965)牧草種子大巾に増加, 相変らず多い麦角混入. 神戸植防情報 406 : 102
 48. 原 摂祐(1921)静岡県病菌管見(61). 静岡県農会報. 268
 49. 原 摂祐(1928)東亜菌類誌. 静岡県農会報 361 : 22
 50. 原 摂祐(1932)実験作物病理学. 975p. 養賢堂. 東京.
 51. 原 摂祐(1936)日本害菌学. 358p. 養賢堂. 東京.
 52. 原 摂祐(1954)日本菌類目録. 447p. 日本菌類学会. 岐阜県川上村.
 53. 原田竹雄・美濃羊輔(1973)チモシー斑点病菌 *Cladosporium phlei* による p-クマール酸から 4-ハイドロキシスチレンの形成. 日植病報 39(5) : 438-440 (英文)

54. 原田竹雄・美濃羊輔(1974)チモンー斑点病菌 *Cladosporium phlei* のクマール酸脱炭酸酵素について. 日植病報 40(2): 118-119 (講要)
55. 原田幸雄(1979) *Puccinia sessilis* および *P. caricis-circaeum* の新銹子腔寄主. 日菌報 20(4): 469-473 (英文)
56. 橋本伸一・寺中理明・若井田正義(1973)オーチャードグラス炭疽病の発病におよぼす葉面微生物の影響. 日植病報 39(3): 192 (講要)
57. 橋本伸一・寺中理明・若井田正義(1974)オーチャードグラスに病原性を有する *Penicillium* 菌について. 日植病報 40(2): 114-115 (講要)
58. 橋本 保・関沢 博(1962)牧草の病害に関する研究. その 1. 宮城県における種類とその発生消長. 北日本病虫研会報 13: 73-74
59. 部田英雄・日浦運治(1977)オーチャードグラスウドンコキン (*Erysiphe graminis* DC.) と *E. graminis* の四つの *forma specialis* との生殖的隔離. 日植病報 43(1): 93 (講要)
60. 逸見武雄・石橋富美・林 文恵(1948)甘藷のモットル・ネクローシスに就いて. 日植病報 13(1-2): 44-46
61. 日野 巖(1933)モザイック及びモザイック類似病被害植物目録. 宮崎高農学術報告 5: 97-111 (英文)
62. 平根誠一(1953)雪下における *Pythium* 属菌の種類及び分布と病原性. 北陸病虫研会報 3: 14
63. 平根誠一(1955)麦類褐色雪腐病の防除に関する研究. 農政技資 60: 1-86
64. 平根誠一(1960)麦類褐色雪腐病の研究, 特に病原菌の分類について. 日菌報 2(5): 82-87
65. 平島利昭(1978)根釦地方における永年放牧草地の維持管理に関する研究. 北海道立農試報告 27: 1-97
66. Hirata, K. (平田幸治) (1966) Host range and geographical distribution of the powdery mildews. Lab. Phytopath. Fac. Agr. Niigata Univ. Niigata, Japan. p. 42-65
67. 平塚直秀・小谷英二(1930)北海道, 樺太及千島列島ニ於テ採集サレタル麦角菌ニ就テ. 鳥取農学报 2: 57-60
68. 平塚直秀(1952) *Uredinales* of Kiushu. 東京教育大農紀 1: 1-95
69. 平塚直秀・〔末〕岡 基義(1952) *Puccinia graminis* の分類学的一考察. 日植病報 16(3-4): 185-186 (講要)
70. 平塚直秀・宮下真一(1954)スズメノチャヒキ属植物の小麦黒銹病菌および小麦赤

- 銹病菌に対する感受性. 日植病報 18 (3-4) : 134-135. (講要)
71. 平塚直秀・神津琢自(1954)シバの銹病菌 *Puccinia Zoysiae* について. 日植病報 18 (3-4) : 140 (講要)
 72. 平塚直秀・宮下真一(1954)麦類の各種銹病菌および *Puccinia Agropyri* に対するカモジグサ属, エゾムギ属およびスズメノチャヒキ属植物等の感受性に関する研究. 日植病報 18 (3-4) : 172 (講要)
 73. 平塚直秀・宮下真一(1954)麦類銹病抵抗性に関する研究. IV. 小麦黒銹病菌および赤銹病菌に対するカモジグサ属, エゾムギ属およびスズメノチャヒキ属植物の抵抗性に関する研究. 育雑 4(1) : 31-36
 74. 平塚直秀・島袋俊一・新納義馬(1955) *Uredinales of the Amami Islands*. 琉球大農家政工学術報告 2 : 16-37
 75. 平塚直秀・宮下真一(1955)麦類黄銹病菌に対するコムギ属およびその近縁植物の感受性について. 日植病報 20 (2-3) : 109 (講要)
 76. 平塚直秀(1955)植物銹菌学研究. 382p. 笠井出版. 東京.
 77. 平塚直秀・平塚保之(1957) *A list of Ustilaginales found in Formosa and the Ryukyu Islands*. 琉球大農家政工学術報告 4 : 131-143
 78. 平塚直秀(1960) *A provisional list of Uredinales of Japan Proper and the Ryukyu Islands*. 琉球大農家政工学術報告 7 : 189-314
 79. 平塚直秀・佐藤昭二(1962)コムギ黒さび病菌の異種寄生性について. 日植病報 27(2) : 62-63 (講要)
 80. 平塚直秀・佐藤昭二・江口好晴(1968)コムギ属植物の各種ムギ類さび病菌ならびにその類縁菌に対する感受性. 育雑 18(6) : 315-326
 81. 平塚直秀・佐藤昭二・江口好晴(1968)各種ムギ類さび病菌および類縁菌に対するコムギ属植物の感受性について. 日植病報 34(5) : 371 (講要)
 82. 平塚直秀(1973)日本列島所産 *Uromyces* 属菌の分類学的研究. 菌草研報 10 : 1-98 (英文)
 83. 平塚利子(1958)南九州および琉球列島所産のイネ科植物に寄生する銹菌. 琉球大農家政工学術報告 5 : 23-106 (英文)
 84. 平山重勝・山本昌木(1946)ハトムギの葉枯病に関する研究. 衛生試報告 69 : 147-155
 85. 平山重勝・山本昌木・坂部フミ・古藤カヨ(1954)ハトムギ黒穂病の防除試験. 衛生試報告 72 : 219-224
 86. 平山重勝・石崎 寛・前田協一(1958) *Curvularia* による芝の立枯病. 三重大

87. 広江 勇(1935) *Brachysporium* 属菌による植物の疾病 (IV). 禾本科並に莎草科植物の葉枯病 (新称) に就て(1) (第 1 号菌群の研究). 日植病報 5 (2): 121 - 144
88. 広江 勇(1935) *Brachysporium* 属菌ニヨル植物ノ疾病(V). クワホン科並ニカヤツリグサ科植物ノ葉枯病 (新称) 2 (第 3 号菌群ノ研究). 鳥取農学报 5 (3): 175 - 188
89. 広江 勇(1936) *Brachysporium* 属菌による植物の疾病 (VI). 禾本科並に莎草科植物の葉枯病 (新称) に就て(3) (第 4 号菌群の研究). 日植病報 5 (4): 318 - 335
90. 広江 勇(1937) 植物病原菌ニ於ケル突然変異的現象ニ関スル実験的研究. 鳥取高農学術報告 5 (1): 1 - 272
91. 比留間 実・丹田誠之助・松壽誠道(1961) 麦角菌の基礎的研究 (第 1 報) *Claviceps purpurea* (Fr.) Tul. 培養分生胞子の発芽に及ぼす諸要因に就て. 農学集報 7 (1): 1 - 5
92. 宝示戸貞雄(1965) ライグラス類品種の春播きによる比較. 日草誌 11 (2): 138 - 139 (講要)
93. [宝示戸貞雄] (1966) [昭和 40 年の新品種解説イタリアンライグラス「ワセヒカリ」]. 農業技術 21 (1): 40 - 43
94. [宝示戸貞雄] (1966) [昭和 40 年の新品種解説イタリアンライグラス「オオバヒカリ」]. 農業技術 21 (1): 42 - 43
95. 宝示戸貞雄(1967) イタリアンライグラスの新品種ワセヒカリとオオバヒカリについて. 農林省畜試年報昭 41 年度: 167 - 180
96. 宝示戸貞雄(1976) オーチャードグラス新品種「オカミドリ」について. 農業技術 31 (11): 503 - 504
97. 宝示戸貞雄・吉山武敏・向山新一・田中弘敬・関塚清蔵(1977) オーチャードグラスの新品種「アオナミ」の育成とその特性. 草地試研報 10 : 23 - 33
98. 北海道農業試験場牧草第 3 研究室(1971) 北海道におけるイネ科およびマメ科牧草の病害発生調査. 北農 38 (1): 1 - 23 図版
99. Homma, Y. (本間ヤス) (1937) *Erysiphaceae of Japan*. 北海道大農紀 38 (3): 181 - 461
100. 本間善久・平田幸治(1968) 新潟県の白渋病菌とその寄主植物の調査. 新潟農林研究 20 : 133 - 145

101. 堀 正太郎(1901)麦立枯病, 農商務省農試報告 18 : 35 - 65
102. 細辻豊二(1970)芝生病害の防除理論, グリーン 25 : 14 - 19, 25 - 30
103. 細辻豊二(1977)芝生の病害とその防除, 農薬グラフ 64 : 4 - 7
104. 細辻豊二(1979)芝生の土壌および芝草の *Fusarium* 菌の種, 芝草研究 8(1) : 61 - 63
105. 細辻豊二・吉田正義(1979)原色図鑑 芝生の病虫害と雑草, 298p, 全国農村教育協会, 東京.
106. 茨木忠雄・村越八郎(1960)大麦黄さび病菌のイヌムギ (*Bromus unioloides*) 上での越冬について, 北日本病虫研究会報 11 : 43 - 44
107. 茨木忠雄・徳永友三・遠藤昭二(1963)福島県に発生する飼料作物病害について, 北日本病虫研究会報 14 : 62
108. 茨木忠雄・徳永友三(1964)牧草病害の薬剤防除について, 北日本病虫研究会報 15 : 179 - 181
109. 茨木忠雄・小野正光・佐藤洋孝(1968)栽培条件と牧草病害発生との関係, 東北農業研究 10 : 282 - 285
110. 出田 新(1909)日本植物病理学(上), 344p, 裳華房, 東京.
111. 出田 新(1911)日本植物病理学(下), p. 345 - 935, 裳華房, 東京.
112. 出田 新(1923)続日本植物病理学(上), 398p, 裳華房, 東京.
113. 出田 新(1926)続日本植物病理学(下), p. 399 - 1231, 裳華房, 東京.
114. 飯田 格(1960)飼料作物病害についての問題点, 日草誌 6(2) : 87 - 89
115. 飯田 格(1961)専門別にみた歩みと展望 — 病害, 日草誌 6(3) : 164 - 166
116. 飯田 格(1964)米国における飼料作物病害研究の現状, 北日本病虫研究会報 15 : 1 - 4
117. 飯田 格(1964)飼料作物の雪ぐされ病の防ぎ方, 農及園 39(12) : 1853 - 1856
118. 飯田 格(1965)秋まき飼料作物の雪ぐされ対策, 牧草と園芸 13(9) : 8 - 10
119. 飯田 格・飯塚典男・高橋広治(1966)単混播と牧草病害発生との関係, 北日本病虫研究会報 17 : 58
120. 飯田 格(1969)専門別にみた研究の動向と問題点 — 病害, 日草誌 15(4) : 272 - 273
121. 飯田 格・高橋広治・飯塚典男(1969)牧草病害に関する研究, I, 東北地方における牧草病害の発生調査, 東北農試研報 37 : 1 - 14
122. 飯田 格(1970)芝の病害の発生生態について, グリーン 25 : 20 - 24
123. 飯田 格(1975)芝草病害名について, 芝草研究 4(1) : 71

124. 井上忠男(1957)オオムギの新しいバイラス病(麦斑葉モザイク)について. 植物防疫 11(4): 135-137
125. 伊坂実人(1959)福井県下における黄化萎縮病寄主雑草の分布, 病害虫発生予察特別報告 3: 57-60
126. 伊坂実人・宮越 盈(1967)イネ白葉枯病菌の保菌雑草について. 日植病報 33(5): 330 (講要)
127. 井沢弘一(1972)牧草地の重要病害, 葉腐れ病とその対策. デーリイマン 22(12): 36-37
128. 井沢弘一・阿部 亮・中嶋紘一(1972)イタリアンライグラスの化学成分に及ぼす冠さび病の影響. 日草誌 18(別号1): 98-99 (講要)
129. 井沢弘一・但見明俊(1972)ベレニアルライグラス草地における休牧日数と麦角病発生. 日草誌 18(別号1): 100-101
130. 井沢弘一・西原夏樹(1973)イタリアンライグラスの化学成分に及ぼす冠さび病の影響(続報). 日草誌 19(別号2): 68-69
131. 井沢弘一・阿部 亮・西原夏樹(1974)飼料価値に及ぼす病害の影響. I. 冠さび病によるイタリアンライグラスの化学成分の変化. 日植病報 40(2): 86-92
132. 井沢弘一(1974)葉腐病の発生が草地の動態に及ぼす影響. 日植病報 40(3): 170 (講要)
133. 井沢弘一・西原夏樹(1975)オーチャードグラスの化学成分に及ぼす黒さび病の影響. 日草誌 21(別号1): 63-64
134. 井沢弘一・西原夏樹(1975)飼料価値に及ぼす病害の影響. II. 冠さび病によるイタリアンライグラスの質的・量的被害. 草地試研報 6: 87-94
135. 井沢弘一・但見明俊(1976)ベレニアルライグラス麦角病の発生と休牧日数との関係. 日草誌 22(2): 136-138
136. 井沢弘一・小林義之・西原夏樹(1976)坪刈りしたオーチャードグラスの化学成分に及ぼす黒さび病の影響. 日植病報 42(1): 66 (講要)
137. 井沢弘一(1976)葉腐病による刈取り草地の荒廃と草種との関係. 日植病報 42(3): 340 (講要)
138. 井沢弘一(1976)病害による牧草飼料価値の低下. 植物防疫 30(4): 164-170
139. 井沢弘一(1976)飼料作物病害の飼料価値からみた被害査定法. 農林水産研究情報 63: 17-18
140. 井沢弘一(1976)飼料価値に及ぼす病害の影響 — 冠さび病によるイタリアンライグラスの化学成分の変化. 草地試年報昭49年度: 47-48

141. 井沢弘一・阿部 亮・但見明俊(1977)オーチャードグラス 3 米養系の化学成分に及ぼす黒さび病の影響. 日植病報 **43** (1): 74 (講要)
142. 井沢弘一(1977)イタリアンライグラスの化学成分に及ぼす葉腐病の影響. 日草誌 **23** (別号): 221-222
143. 井沢弘一(1977)オーチャードグラスの化学成分に及ぼすすじ葉枯病とうどんこ病の影響. 日草誌 **23** (別号): 223-224
144. 井沢弘一(1978)葉腐病罹病オーチャードグラスの化学成分の変化. 日植病報 **44** (1): 63-64 (講要)
145. 井沢弘一(1978)雲形病罹病オーチャードグラスの化学成分の変化. 日植病報 **44** (1): 104 (講要)
146. 井沢弘一(1978)網斑病およびかさ枯病罹病イタリアンライグラスの飼料成分の変化. 日植病報 **44** (3): 350 (講要)
147. 井沢弘一(1979)病気による飼料作物の被害. 草地試ニュース **25**: 8-9
148. 石山信一・向 秀夫(1941)植物病原細菌誌. 840 p. 明文堂. 東京.
149. 伊藤一雄・紺谷修治(1952)マメ科樹木の蜘蛛巣病原菌. 林試研報 **54**: 45-78
150. 伊藤誠哉(1909) On the Uredineae parasitic on the Japanese Gramineae. 東北大(札幌)農紀 **3**(2): 180-265
151. 伊藤誠哉(1935)東亜菌類小報(II). 札幌博報 **14**(2): 87-96 (英文)
152. 伊藤誠哉(1936)大日本菌類誌 1. 藻菌類. 340 p. 養賢堂. 東京.
153. 伊藤誠哉(1936)大日本菌類誌 2(1) 担子菌類, 黒穂菌目. 148 p. 養賢堂. 東京.
154. 伊藤誠哉・富士貞吉(1943)北地麦類モザイク病の研究. 病虫雑 **30** (1・2): 8-13
155. 伊藤誠哉・富士貞吉(1944)北地麦類モザイク病の研究(1). 札幌農林会報 **36**(3): 62-89
156. 伊藤誠哉・富士貞吉(1944)北地麦類モザイク病の研究(2). 札幌農林会報 **36**(4): 65-88
157. 伊藤誠哉(1950)日本菌類誌 2(3). 担子菌類, 銹菌目, 柄生銹菌科, 不完全銹菌. 435 p. 養賢堂. 東京.
158. 伊藤誠哉(1955)日本菌類誌 2(4), 担子菌類, キクラゲ目, シロキクラゲ目, アカキクラゲ目, ヒダナンタケ目(サルノコシカケ目). 450 p. 養賢堂. 東京.
159. 井戸沼忠博・美濃羊輔・酒井隆太郎(1979)チモンシロ斑点病菌 *Cladosporium phlei* が生産する *phleochrome* 宿主葉中インベルターゼに及ぼす影響. 日植病報 **45** (4): 537 (講要)

160. 岩垂 悟・佐々木三男・内藤中人(1943)満洲国農作物病害目録。満洲国農試報告
45 : 1-223
161. 岩田 勉(1954)いもち病菌の禾本科植物に対する寄生性。北農研究抄報 1 : 22-
23
162. 岩田 勉・高倉和昭(1954)稲熱病菌の新寄主植物について。日植病報 18 (3-4)
: 150 (講要)
163. 岩田 勉・山貫重夫・成田武四(1955)禾本科植物に対する稲熱病菌の寄生性。日
植病報 19 (3-4) : 175 (講要)
164. 梶原敏宏・岩田吉人(1956)大麦裸麦雲形病菌の分離系統とその病原性について。
日植病報 20 (4) : 170-171 (講要)
165. 梶原敏宏・岩田吉人(1957)オーチャードグラスの雲形病について。附、他のイネ
科牧草の雲形病。農及園 32 (2) : 383-385
166. 梶原敏宏・岩田吉人(1957)イネ科牧草条葉枯病およびトールオートグラス赤葉枯
病について。植物防疫 11 (12) : 535-537
167. 梶原敏宏・岩田吉人(1958)大麦、裸麦雲形病菌の分離系統に関する研究。日植病
報 23 (1) : 18 (講要)
168. 梶原敏宏・岩田吉人(1963)オオムギ雲形病菌の系統に関する研究。農技研報 C,
15 : 1-82
169. 角田三郎(1977)病害防除。日本芝草研究会編総説芝生と芝草。480 p, ソフトサイ
エンス社。東京.pp. 357-358
170. 金子幸司(1962)アメリカの牧草育種と採種。海外農業生産性視察報告 42 : 1-
125
171. 金子幸司(1964)牧草の耐病性育種。育種学最近の進歩 5 : 85-94
172. 菅野考己・木島浩三・中野淳一(1971)転換畑におけるローズグラスの栽培法に関
する研究。四国農試報告 23 : 1-52
173. 加藤 肇・山口富夫・西原夏樹(1975)シコクビエいもち病菌の種子伝染。日植病
報 41 (3) : 244 (講要)
174. 加藤 肇・山口富夫・西原夏樹(1976)イネいもち病菌の増殖に関する研究(4)培地
上での完全世代の形成。日植病報 42 (3) : 331 (講要)
175. 加藤 肇・山口富夫・西原夏樹(1976)イネいもち病菌の培地上における完全世代
の形成。日植病報 42 (4) : 507-510 (英文)
176. 加藤 肇・山口富夫・西原夏樹(1977)シコクビエいもち病菌の種子伝染と病原性
ならびにシコクビエのいもち病感受性。日植病報 43 (4) : 392-401

177. 加藤 肇・阪本寧男・山口富夫(1978)交配型を異にするシコクビエいもち病菌の分布. 日植病報 44 (1) : 64 (講要)
178. 加藤 肇・山口富夫(1978)イネいもち病菌の増殖に関する研究 (5). 異種植物からの分離菌の共通寄主. 日植病報 44 (3) : 346 (講要)
179. 香月繁孝(1965)日本産 *Cercospora* 属菌. 日菌報別冊 1 : 1-100 (英文)
180. 香月繁孝(1966)日本産 *Cercospora* 属菌補遺. 1. 日菌報 7 (2-3) : 101-105 (英文)
181. 桂 琦一・土倉亮一・古家民生(1954)稲黄化萎縮病に関する研究 (第2報). 苗代の第一次伝染源としての禾本科雑草. 西京大学術報告農学 6 : 49-66
182. 桂 琦一・土倉亮一・古家民生(1959)苗代の第一次伝染源としての禾本科雑草病害虫発生予察特別報告 3 : 50-56
183. 桂 琦一(1961)芝類の病害とその対策. グリーン研究報告集 1 : 43-45
184. 桂 琦一(1969)芝生の土壌伝染性病害とその防除の考え方. 農事ニュース (日産化学) 190 : 3
185. 桂 琦一(1971)植物の疫病 — 理論と実際. 128 p. 誠文堂新光社. 東京.
186. [川端習太郎] (1972) [昭和47年の新品種解説 トールフェスク 「ホクリョウ」]. 農業技術 27 (10) : 456-457
187. 川端習太郎(1972)昭和47年の新品種解説, トールフェスク 「ヤマナミ」. 農業技術 27 (10) : 257
188. [川端習太郎] (1974) トールフェスク. 飼料作物の品種解説 : 49-53
189. [川端習太郎] (1974) メドーフェスク. 飼料作物の品種解説 : 54-55
190. [川端習太郎] (1975) [昭和49年の新品種解説, イタリアンライグラス 「ナスヒカリ」]. 農業技術 30 (1) : 33-34
191. 川端習太郎 (1976) オーチャードグラス新品種 「アキミドリ」 について. 農業技術 31 (9) : 411-413
192. 川端習太郎・佐藤信之助・池谷文夫・宝示戸貞雄・吉山武敏・田中弘敬・関塚清蔵(1977)オーチャードグラスの新品種 「アキミドリ」 の育成とその特性. 草地試験報 10 : 34-51
193. 河合克巳・大谷広直(1931)南樺太採集菌類目録. 札幌博報 11 (4) : 227-242 (英文)
194. [川上清隆] (1971) オーストラリア産ダリスグラス種子返送処分 — 横浜 — , 横浜植防ニュース 420 : 3
195. [川上清隆] (1971)オランダ産牧草種子に黒穂病菌. 横浜植防ニュース 431 : 6

196. 〔川上清隆〕(1971)オーストラリア産ダリスグラス種子に炭疽病菌. 横浜植防ニュース 432 : 7
197. 河村貞之助(訳)(1967)人畜の健康に及ぼす植物病の副作用について. 農業研究 13 (3) : 73-78
198. 川鍋祐夫(1957)多年生牧草の夏がれと栽培限界. 畜産の研究 11 (1) : 132-138
199. 川鍋祐夫・吉原 潔・岡田忠篤・山田豊一・上野昌彦・日高雅子(1964)牧草の夏がれ防止に関する研究. 5. 数種牧草に対する灌がいおよび病虫害防除の効果について. 日草誌 10 (1) : 45 (講要)
200. 川鍋祐夫・吉原 潔・岡田忠篤・上野昌彦・日高雅子(1973)牧草の夏枯れ防止に関する研究. 灌がい, 病虫害防除剤施用の効果について. 草地試研報 4 : 30-50
201. 川谷豊彦(1952)麦角菌 *Claviceps* の寄主植物(その1). 衛試報告 70 : 127-152
202. 川谷豊彦(1953)麦角菌 *Claviceps* の寄主植物(その2). 衛試報告 71 : 161-171
203. 佳山良正(1969)暖地型牧草とその特性(2). 南米の牧草, 特に暖地型牧草の種類とその特性. 畜産の研究 32 (10) : 1300-1304
204. 佳山良正(1971)暖地型牧草(4). 牧草と園芸 19 (3) : 7-9
205. 木下東三・渡辺徳太・中島敏男(1967)イタリアンライグラスの品種特性に関する研究. 第2報. 採種期の早晚による収量性の品種間差異. 日草誌 13 (3) : 172-178
206. 木下東三・中島敏男・横畠吉彦(1968)イタリアンライグラスの品種特性に関する研究. 第3報. 冠さび病罹病程度の品種間差異. 日草誌 14 (4) : 271-274
207. 〔木下東三・中島敏男・横畠吉彦・渡辺徳太〕(1972)昭和47年の新品種解説, イタリアンライグラス「ワセユタカ」. 農業技術 27 (10) : 459
208. 〔木下東三・中島敏男・横畠吉彦・渡辺徳太〕(1972)〔昭和47年の新品種解説, イタリアンライグラス「ヤマアオバ」〕. 農業技術 27 (10) : 460
209. 木下東三・中島敏男・横畠吉彦(1973)イタリアンライグラスの育成品種「ワセユタカ」と「ヤマアオバ」について. 山口農試研報 27 : 1-28
210. 木下東三(1978)イタリアンライグラスの品種と栽培・利用. 農業技術 33 (3) : 111-114
211. 木下東三(1977)イタリアンライグラス新品種「ミナミワセ」の解説. 農業技術 32 (10) : 460-461

212. 木下東三(1978)イタリアンライグラスの品種と栽培・利用(2). 農業技術 **33**(4) : 151-154
213. 木下東三・中島敏男・横島吉彦(1978)イタリアンライグラスの新品種「ミナミワセ」について. 山口農試研報 **30** : 79-93
214. 北島 博・梶原敏宏(1967)原色作物病害図説. 改訂版 429 p. 養賢堂. 東京.
215. 北村文雄(1973)芝草のウイルス病について. 芝草研究 **2**(2) : 49
216. 木谷清美・国安克人(1970)四国地域における牧草・飼料作物病害の種類および発生状況. 四国農試報告 **22** : 119-153
217. 小林堅志(1973)ベントグラスに対するリゾクトニアの人工接種方法と薬剤の効力試験. 芝草研究 **2**(2) : 43-46
218. 小林堅志(1974) *Rhizoctonia solani* の人工接種によるコウライシバの発病について. 芝草研究 **3**(2) : 35-39
219. 小林堅志(1976)コウライシバに生ずる葉枯れの病斑から分離される病原菌について. 芝草研究 **5**(1) : 47-52
220. 小林堅志(1978)芝生土壌殺菌剤に関する研究(第1報). ベントグラスのブラウンパッチに対する2, 3の薬剤の効果と持続性. 芝草研究 **7**(2) : 115-119
221. 小林堅志(1979)芝生土壌殺菌剤に関する研究(第2報). 殺菌剤の稀釈水量とベントグラスブラウンパッチの防除効果との関係. 芝草研究 **8**(2) : 123-127
222. 小林甲喜・水島嗣雄(1978)ハトムギの栽培と利用. 農業技術 **33**(5) : 193-197
223. 小宮書之助・渡辺直道(1961)富士吉田農場における牧草病害実態調査(1). 明治大農研報 **12** : 43-46
224. 小宮書之助・渡辺直道・鳥倉弘文(1964)牧草主要病害の発生消長について. 北日本病虫研会報 **15** : 66-69
225. 小宮書之助・工藤 馨・渡辺直道・鳥倉弘文・八重樫隆志(1966)牧草の主要病虫害の防除法確立に関する研究 — 牧草の病害防除に関する基礎的研究(1). 明治大科研紀要 **5** : 231-247
226. 小宮書之助・渡辺直道(1970)オーチャードグラスのスジハガレ病菌胞子の飛散と気象条件との関係について(1). 明治大農研報告 **25** : 1-11
227. 小森要一郎・寺中理明・若井田正義(1975)オーチャードグラスの葉位と季節による糸状菌相の変動. 日植病報 **41**(3) : 249 (講要)
228. 小森要一郎・寺中理明(1976)オーチャードグラス炭疽病の発生におよぼす葉上微生物の影響について. 日植病報 **42**(3) : 335 (講要)

229. 小菅喜久弥(1966)山梨県におけるイネ科作物のくろすじ萎縮病の発生と防除, 植物防疫 20(7): 298-302
230. 倉田 浩・河野文子(1958) Dematiaceae-Phragmosporae の分類学的研究, I. Curvularia 属菌, 日植病報 23(1): 37 (講要)
231. 黒住久弥・豊田洋介(1962)ダリスグラスの播種時期と発芽について, 日草誌 8(2): 166 (講要)
232. 櫛渕欽也(1972)夏作物新品種の紹介-昭和47年度農林省登録, 育雑 22(4): 246-252
233. 櫛渕欽也(1976)夏作物新品種の紹介-昭和51年度農林省登録, 育雑 26(3): 266-277
234. 前島 勇・西 泰道・松田鋤男・原 敬一(1973)パンゴラグラス萎縮病について, 九州病虫研会報 19: 63-65
235. 牧野秋雄・久永 勝(1972)イタリアンライグラスいもち病の静岡県における発生, 関西病虫研会報 14: 96-97
236. 増谷哲雄(1978)チモン-新品種「ホクシュウ」「ノサップ」の解説, 農業技術 33(1): 28-32
237. 増谷哲雄(1979)チモン-病害に対する品種改良, デーリイマン 29(2): 53
238. 松原〔芳久〕(1964)牧草種子の輸入量年々増加, 量の増加と共に病虫害の検疫をより慎重に, 横浜植防ニュース 265: 2-3
239. 松田鋤男・和泉勝一・原 敬一・新留伊俊(1971)パンゴラグラスの萎縮症に関する試験(1), 病徴ならびに伝染について, 日植病報 37(5): 374 (講要)
240. 松田鋤男・和泉勝一・原 敬一(1973)パンゴラグラス萎縮病に関する研究(第2報), 病原の伝染および寄主植物について, 九州病虫研会報 19: 61-62
241. 松本和夫・古田 力(1967)ダリスグラス麦角病菌の菌麦の大きさ, 地中埋没処理と子座形成能力との関係, 日植病報 33(2): 83-84 (講要)
242. 松本和夫・古田 力(1968)ダリスグラス麦角病菌の菌核の大きさ, 地中埋没深度と子座形成能との関係, 中国農業研究 38: 36-37
243. 松本邦彦・杉山正樹・中田栄一郎・堀 真雄(1973)ライグラス類冠さび病に対するライグラス類品種の抵抗性に関する研究(1), 散粉接種の胞子増量剤について, 日植病報 39(3): 193 (講要)
244. 松本邦彦・杉山正樹・中田栄一郎(1974)ライグラス類冠さび病に対するライグラス類品種の抵抗性に関する研究(3), 冠さび病夏胞子の保存法について, 日植病

- 報 40 (2) : 135 (講要)
245. 松本邦彦・中田栄一郎・杉山正樹(1975)ライグラス類冠さび病に対するライグラス類品種の抵抗性に関する研究(4). 散粉接種後の侵入処理について. 日植病報 41 (1) : 94 (講要)
 246. 松本邦彦・中田栄一郎・杉山正樹(1975)ライグラス類冠さび病に対するライグラス類品種の抵抗性に関する研究(5). 噴霧接種のキャリアーについて. 日植病報 41 (3) : 249 (講要)
 247. 松本邦彦・杉山正樹・中田栄一郎(1976)ライグラス類冠さび病に対するライグラス類品種の
(5). ほ場検定における問題点. 日植病報 42 (1) : 75-76 (講要)
 248. 松本邦彦・杉山正樹・中田栄一郎(1978)ライグラス類冠さび病菌夏胞子の散粉接種法. 山口農試研報 30 : 95-102
 249. 松本邦彦・杉山正樹・中田栄一郎(1979)ライグラス類冠さび病菌夏胞子の噴霧接種法. 山口農試研報 31 : 123-127
 250. 松本直幸・荒木隆男(1977)圃場条件下におけるイネ科牧草の雪腐大粒小粒菌核病の推移. 日植病報 43 (1) : 109 (講要)
 251. 松本 聡(1964)パヒアグラスおよびダリスグラスの特性と栽培法. 日草誌 10 (2) : 167-168
 252. 松本 聡・寺田康道・葵 一八・鶴見義朗(1967)南九州に自生するダリスグラスの生態型に関する研究. 第1報. 自生分布地帯, および自生分布をうながす自然的, あるいは人為的諸要因. 九州農試彙報 13 (1・2) : 21-54
 253. 松本 聡・葵 一八・寺田康道・鶴見義朗(1968)南九州に自生するダリスグラスの生態型に関する研究. 第2報. 諸形質の差異からみた自生分布集団の生態型分類. 九州農試彙報 14 (1) : 11-47
 254. 松壽誠道・丹田誠之助(1959)麦角菌の人工培養と色素の形成について. 日植病報 24 (1) : 11 (講要)
 255. 松尾卓見(1969)フザリウム菌の見分け方. 植物防疫 23 (11) : 473-480
 256. 松島健一・和気 彰(1962)種子の検査を慎重に — オレンジ・サーティフィケートの教えるもの. 神戸植防情報 304 : 130-131
 257. 松浦 勇(1934) *Brachysporium* 属菌による植物の疾病. 日植病報 3 (1) : 113-115 (講要)
 258. 松山宣明・加藤 肇・山口富夫(1976)各種イネ科植物に寄生するいもち病菌の

peroxidase, esterase, catalase の zymogram. 日植病報 42 (1): 110
(講要)

259. 松山宣明・脇本 哲(1977) *Fusarium* 属菌とくにイネ褐色葉枯病菌および *F. nivale* の zymogram 比較. 日植病報 43 (3): 317 (講要)
260. 美濃羊輔(1972) チモンシー斑点病菌 (*Cladosporium phlei*) の生産する橙色の色素. I. その精製と化学的特性について. 日草誌 18 (1): 54-59 (英文)
261. 美濃羊輔・前田寛蔵・原田竹雄(1974) チモンシー斑点病菌 *Cladosporium phlei* de Vries の生理学的ならびに生化学的研究. 第2報. 無機窒素の利用性について. 日草誌 20 (1): 1-5 (英文)
262. 美濃羊輔・井戸沼忠博・酒井隆太郎(1979) チモンシー斑点病菌 *Cladosporium phlei* が生産するフレイクロームの宿主葉中インベルターゼに対する作用. 日植病報 45 (4): 463-467 (英文)
263. 三浦梧楼(1972) 新たに北海道優良奨励品種に決定した雪印改良種オーチャードグラスフロントニア. 牧草と園芸 20 (4): 表紙2
264. 三浦密成(1957) 秋田農試保管病菌標本調査報告. 秋田農試報告 8: 1-64
265. 宮本 進・壇原宏(1969) 有機水銀農薬の乳汁への移行. 日畜学会57回大会(昭和44年度)講要: 52
266. 宮本 進(1974) 酢酸フェニール水銀中の水銀の家畜体内における代謝と乳汁への移行. 栄養と食糧 27 (2): 47-53
267. 宮本 進(1977) 抗生物質および農薬の家畜・畜産物に対する影響に関する研究. 研究成果 97: 113-120
268. 宮島邦之・坪木和男(1979) オーチャードグラス黄枯細菌病の道東地方での発生. 日植病報 45 (1): 114 (講要)
269. 望月 昇・西原夏樹(1978) シコクビエいもち病耐病性の検定方法と品種間差異. 育雑 28 (別1): 218-219 (講要)
270. 諸橋〔公穂〕(1966) 相次いで麦角等混入の種子輸入. 横浜植防ニュース 305: 4
271. 向井清博(1965) ケンタッキーブルーグラスに多量の麦角. 神戸植防情報 403: 91
272. 向 秀夫(1955) 麦類の黒節病, 特にその病原細菌について. 栃内・福土教授還暦記念論文集: 153-157
273. 向 秀夫・西原夏樹(1975) 飼料作物・牧草の病害. 河田党編作物病虫害事典. 養賢堂. 東京 pp. 306-372
274. 村上 馨・金子幸司・小島昌也・赤城望也(1965) チモンシー品種に関する試験. 北海道農試彙報 85: 77-85

275. 〔村里正八〕(1972)〔昭和47年の新品種解説, イタリアンライグラス「ヒタチアオパ」〕. 農業技術 27 (10) : 457-458
276. 村里正八・渡部 仁・小島昌也・菅原 毅・石井幸夫・中山貞夫・佐藤英一・吾妻 健(1975)イタリアンライグラス新品種「ヒタチアオパ」の育成. 茨城畜試研報 1 : 49-71
277. 村田伸夫(1969) *Xanthomonas agropyricola* の DNA の特性よりみた特異性. 日植病報 35 (5) : 354-355 (講要)
278. 室賀利正・斉藤幸雄(1964)牧草の夏枯れ防止に関する研究. 第1報. 灌漑病虫害防除が数種牧草の生育, 収量に及ぼす影響について. 日草誌 9 (2) : 123 (講要)
279. 永井政次・島村光太郎(1933)千島国後島採集菌類に就て. 札幌農林会報 25 (114) : 71-89
280. 永井行夫(1935)カモジグサ褐銹病菌 *Puccinia agropyri* Ell. et Ev. の禾本科植物に於ける寄生性. 日植病報 4 (3-4) : 121-136
281. 長井雄治・宮下真一・明日山秀文(1961)牧草葉腐病菌の培養的性質と病原性. 日植病報 26 (5) : 218 (講要)
282. 長田武正(1972)日本帰化植物図鑑. 254p. 北隆館. 東京.
283. 中尾佐助(1966)栽培植物と農耕の起源. 192p. 岩波書店. 東京.
284. 中島 茂・平田正一・清水 薫・河野明綱(1958)飼料作物に対する病虫害防除の研究. 宮崎大農研究時報 4 (1) : 84-95
285. 中田栄一郎・松本邦彦・杉山正樹(1974)山口県における牧草病害発生実態. 日植病報 40 (2) : 135 (講要)
286. 中田栄一郎・杉山正樹・松本邦彦(1975)山口県において発生したライグラス類冠さび病菌の寄主範囲. 日植病報 41 (1) : 94 (講要)
287. 中田栄一郎・杉山正樹・松本邦彦(1975)ライグラス類冠さび病の発生生態に関する研究(4). 夏胞子の寄主体侵入発病におよぼす温度・光の影響. 日植病報 41 (3) : 248-249 (講要)
288. 中田栄一郎・松本邦彦・杉山正樹(1976)フェスク類冠さび病菌の寄生性について. 日植病報 42 (1) : 75 (講要)
289. 中田栄一郎・杉山正樹・松本邦彦(1979)山口県における牧草・飼料作物病害の発生実態調査. 山口農試研報 31 : 129-136
290. 中田覚五郎・明日山秀文(1939)満洲国主要農作物病害調査報告. 満洲国産業部資料 32 : 1-166
291. 中田覚五郎(1940)作物病害図編. 641 p. 養賢堂. 東京

292. 中田寛五郎(1957)改訂作物病害図編. 664p. 養賢堂, 東京.
293. 成田武四(1953)飼料作物の病害. 農業北海道 5(7): 30-31
294. 成田武四・岩田 勉・山貴重夫(1956)イモチ病菌 *Piricularia oryzae* cav. の寄主範囲に関する調査研究 1. 北海道立農試報告 7: 1-33
295. 成田武四(1958)荳科及び禾本科牧草の病害短報(I). 北海道立農試集報 2: 45-61
296. 成田武四(1959)荳科及び禾本科牧草の病害短報(II). 北海道立農試集報 4: 54-70
297. 成田武四・真野 豊(1959)マウンテンブロームグラスに発生した黄銹病. 日植病報 24(1): 64-65 (講要)
298. 成田武四・真野 豊(1960)麦黄銹病菌のマウンテンブロームグラス上での越夏. 日植病報 25(1): 61 (講要)
299. 成田武四・真野 豊(1960)北海道におけるムギ黄銹病菌の越冬. 日植病報 25(5): 233 (講要)
300. 成田武四(1961)荳科及び禾本科牧草の病害短報(III). 北海道立農試集報 7: 58-76
301. 成田武四(1961)北海道における牧草・飼料作物の主要病害と問題点(1). 農業技術 16(10): 467-469
302. 成田武四(1961)北海道における牧草・飼料作物の主要病害と問題点(2). 農業技術 16(11): 520-523
303. 成田武四(1961)北海道における牧草・飼料作物の主要病害と問題点(3). 農業技術 16(12): 572
304. 成田武四(1962)主要牧草の病害と問題点. 農業の進歩 8(3): 7-20
305. 成田武四・真野 豊(1962)麦類黄さび病菌の越夏越冬並びに第一次伝染源の究明に関する特殊調査. 病害虫発生予察特別報告 12: 1-36
306. 成田武四(1963)牧草・飼料作物の病害・糸状菌病-寒冷地(とくに北海道). 植物防疫 17(10): 397-402
307. 成田武四(1966)オーチャードグラスの一生と病害. 牧草と園芸 14(3): 1-4
308. 成田武四(1971) *Ovularia* 菌によるチモンシ. レッドトップなどイネ科牧草の白かび病. 日植病報 37(5): 404-405 (講要)
309. 成田武四(1972)ケンタッキーブルーグラスに寄生するさび菌4種. 日植病報 38(3): 181 (講要)
310. 成田武四(1972)エンバクおよびイネ科牧草の冠さび病菌とその中間寄主植物について. 北日本病虫研会報 23: 25-38
311. 成田武四(1973)北海道に分布する未記録の牧草病害. 北日本病虫研会報 24: 65
312. 成田武四(1975) *Septoria* 菌によるムギ類およびイネ科牧草の病害(予報). 北

日本病虫研究会報 26 : 42.

313. 成田武四(1976)イネ科牧草に寄生する *Ovularia pusilla* (Ung.) Sacc. et D. Sacc. 北日本病虫研究会報 27 : 4-11
314. 成田武四(1977)北海道における農作物病害. 277 p. 著者出版. 帯広市.
315. 新留伊俊(1967)牧草の夏枯れとその対策に関する研究(第3報). オーチャードグラスの夏枯れの実態とその原因. 九州病虫研究会報 13 : 25-27
316. 新留伊俊(1970)牧草の病害虫とその対策. 鹿児島農試創立70年記念報告 : 238-242
317. 日本植物病理学会(1965)日本有用植物病名目録(Ⅲ). 329 p. 日本植物病理学会. 東京.
318. 西原夏樹(1958) *Fusarium* sp. ? (*F. nivale*?) によるムギ類および禾本科牧草の斑紋について. 日植病報 23 (1) : 33. (講要)
319. 西原夏樹(1958)モロコシ類の豹紋病. 植物防疫 12 (11) : 513-517
320. 西原夏樹(1958)千葉県における麦角病の発生について. 関東病虫研究会報 5 : 44-45
321. 西原夏樹(1958)牧草の病害. 今月の農薬 2 (12) : 32-41
322. 西原夏樹(1959)牧草病害の問題点. 農薬(日本農薬社) 6 (1) : 57-61
323. 西原夏樹(1959)千葉県に発生するイネ科牧草の病害(1). 日植病報 24 (1) : 45 (講要)
324. 西原夏樹(1959)千葉県に発生するトウモロコシとテオシントの病害. 関東病虫研究会報 6 : 23
325. 西原夏樹(1960)千葉県に発生するイネ科牧草の病害(2). オーチャードグラス葉枯病(仮称). 日植病報 25 (1) : 49 (講要)
326. 西原夏樹(1960)千葉県に発生するイネ科牧草の病害(3). ダリスグラス麦角病. 日植病報 25 (1) : 49 (講要)
327. 西原夏樹(1960) *Fusarium nivale* の完全時代の学名について. 日植病報 25 (5) : 218 (講要)
328. 西原夏樹(1960)千葉県に発生するイネ科牧草の病害(4). チモン葉枯病. 日植病報 25 (5) : 240 (講要)
329. 西原夏樹(1961)オーチャードグラス豹紋病(仮称). 日植病報 26 (2) : 61 (講要)
330. 西原夏樹(1961)イネ科植物炭疽病菌の交互接種実験結果. 日植病報 26 (5) : 240-241 (講要)
331. 西原夏樹(1962)牧草の病害(Ⅳ). グラス類. 千葉農試資料 2 : 1-195

332. 西原夏樹(1962)イネ科牧草の病害(カラー写真および解説), 農薬(日本農薬社) 9(4): 口絵.
333. 西原夏樹(1963)牧草の病害(III), 千葉農試資料 3: 1-104
334. 西原夏樹(1963)牧草・飼料作物病害の展望, 植物防疫 17(10): 389-396
335. 西原夏樹(1963)牧草の夏の病気, デーリイマン 13(9): 14
336. 西原夏樹(1965)ブラジルにおける牧草病害について, 日植病報 30(5): 269 (講要)
337. 西原夏樹(1965)病害研究の展望と問題点 — 牧草病害, 日植病報 31(記念号): 119-121
338. 西原夏樹(1965)春に起こりやすい牧草の病害, 畜産コンサルタント 1(4): 42-43
339. 西原夏樹(1965)オーチャードグラスの病気とその診断法, 農および園 40(7): 1102-1106
340. 西原夏樹(1965)牧草の病害, 農林水産技術会議事務局, 研究成果 24(粗飼料の生産技術): 65-75
341. 西原夏樹(1965) *Ellisiella caudata* によるスズメノヒエのにせ炭疽病, 日菌報 5(3): 75-78
342. 西原夏樹(1966)ブラジル・リオグランデドスール州の牧草病害について, I. イネ科牧草, 農林省畜試研報 10: 21-32
343. 西原夏樹(1966)パールミレットごま葉枯病, 農林省畜試研報 11: 23-29
344. 西原夏樹(1966)南方型イネ科牧草の病害について, 日植病報 32(2): 64-65 (講要)
345. 西原夏樹(1967) *Fusarium roseum* f. *cerealis* によるイネ科牧草の赤かび病, 農林省畜試研報 13: 59-68
346. 西原夏樹(1967) *Helminthosporium buchloes* によるバッファログラスの煤葉枯病, 日植病報 33(3): 197-200
347. 西原夏樹(1967) *Helminthosporium cynodontis* によるバミューダグラスの白枯病, 日植病報 33(4): 276-279
348. 西原夏樹(1967) *Helminthosporium sacchari* によるネピアグラスのごま葉枯病, 農林省畜試研報 15: 33-41
349. 西原夏樹(1968)飼料作物の病害, 農業世界 63(1): 188-189
350. 西原夏樹(1968) *Helminthosporium sorokinianum* によるベルベットグラス, メドウフェスキュおよびライムギの斑点病, 日草誌 14(2): 104-110

351. 西原夏樹(1969)オーチャードグラス夏葉枯病とその病原菌*Helminthosporium dactylidis* (Shoem.) comb. nov. 日植病報 35(1): 84-89
352. 西原夏樹(1969)飼料作物の病害防除法. 農および園 44(1): 282-286
353. 西原夏樹(1969)日本産*Helminthosporium* 属菌の二つの亜属と寄主イネ科植物の亜科との関係. 日植病報 35(2): 105 (講要)
354. 西原夏樹(1969)牧草病害の病原学的研究 日草誌 15(1): 71-72 (日本草地学会受賞講演要旨)
355. 西原夏樹(1969)*Stagonospora intermixta* によるレッドトップの葉枯病. 農林省畜試研報 20: 79-84
356. 西原夏樹(1970)イネ科植物うどんこ病菌の寄主と寄主植物の亜科との関係. 日植病報 36(5): 335 (講要)
357. 西原夏樹・但見明俊(1970)本邦に新たに発生したレッドトップ (*Agrostis alba* L.) の冠さび病. 日植病報 36(5): 335-336 (講要)
358. 西原夏樹・吉村彰治(1970)飼料作物の病虫害の診断と防ぎ方. I. 牧草の病害. 産業資材PRセンター. 東京. (カラースライド 102 コマ, テキスト 43p.)
359. 西原夏樹・吉村彰治(1970)飼料作物の病虫害の診断と防ぎ方. II 青刈作物の病害. 産業資材PRセンター. 東京. (カラースライド 57 コマ, テキスト 26 p.)
360. 西原夏樹(1971)日本産イネ科植物寄生 *Helminthosporium* 属菌の亜属と寄主の分類との関係. 日植病報 37(4): 283-290
361. 西原夏樹(1971)イタリアンライグラスの蛇紋病. 植物防疫 25(12): 489-491
362. 西原夏樹(1972)*Erysiphe graminis* の寄主とイネ科植物の亜科との関係. 日植病報 38(4): 359-361
363. 西原夏樹(1972)*Colletotrichum graminicolum* によるトールオートグラスの炭そ病. 日草誌 18(3): 209-211
364. 西原夏樹(1972)*Phleospora graminearum* によるメドーフェスキュの新しい病気, 鹿の子まだら病. 草地試研報 1: 1-5
365. 西原夏樹(1973)ケンタッキーブルーグラス褐斑病. 草地試研報 2: 41-45
366. 西原夏樹(1974)日本産イネ科植物寄生炭そ病菌の分生胞子の形態および温度感応と宿主の亜科分類との関係. 日植病報 40(2): 114 (講要)
367. 西原夏樹(1976)*Helminthosporium* 属菌の亜属間における温度感応の相違. 日植病報 42(3): 336 (講要)
368. 西原夏樹(1976)牧草採種栽培における病害の発生状況(1975年). 日草誌 22(別号 1): 107-108 (講要)

369. 西原夏樹(1976) トールオートグラス上の一さび病菌. 日菌報 17 (3-4) 532 - 533
370. 西原夏樹(1976) Diseases of the grass and soiling forage crops and thier control. Agric. Asia, Special Issue No. 10 (Plant Protection in Japan, 1976) : 246 - 249
371. 西原夏樹(1976) 病害とその防除. 草地自給飼料百年史, 中央畜産会. 東京. pp. 1200 - 1219
372. 西原夏樹(1977) イタリアンライグラス雲形病. 日植病報 43 (1) : 70 (講要)
373. 西原夏樹(1977) トウモロコシとチモシーのひょう紋病. 日植病報 43 (1) : 121 (講要)
374. 西原夏樹(1977) 新導入飼料作物テフグラスのヘルミントスポリウム病とその病原菌の同定. 日植病報 43 (3) : 318 (講要)
375. 西原夏樹(1977) 牧草採種栽培における病害の発生状況(1976年). 日草誌 23 (別号) : 219 - 220
376. 西原夏樹(1977) Lolium 属のヘルミントスポリウム病とその病原菌の同定. 日植病報 44 (1) : 63 (講要)
377. 西原夏樹(1978) 本邦温暖地における牧草類糸状菌病の病原学的研究. 日植病報 44 (3) : 231 - 234 (学会賞受賞講要)
378. 西原夏樹(1978) 暖地型牧草, とくに新導入草種に発生する病害の種類とその発生概況. 草地試年報 8 (昭52年度) : 39 - 40
379. 西原夏樹・米山伸吾・吉村彰治(1978) 芝生の病害. 69p. 産業資材PRセンター. 東京.
380. 西原夏樹(1979) オーチャードグラス角斑病の採種栽培からみた国内発生分布. 日植病報 45 (1) : 80 (講要)
381. 西原夏樹(1979) 飼料作物の病害について, 農薬グラフ 69 : 4 - 7
382. 西原夏樹(1979) 牧草採種栽培における病害の発生状況(1977 - 1978年). 日草誌 25 (別号) : 203 - 204
383. 西原夏樹(1979) イタリアンライグラスとシバムギの雲形病. 草地試研報 15 : 103 - 115
384. 西門義一(1928) 日本産禾本科植物のヘルミントスポリウム病に関する研究. 大原農研特別報告 4 : 1 - 384
385. 西村修一・吉原 潔(1965) 牧草の夏枯れ. 農林水産技術会議事務局, 研究成果 24 (粗飼料の生産技術) : 30 - 31

386. 西山幸司・富永時任(1973)イネ科牧草のかさ枯病菌に関する研究 — 病原性と細菌学的性質の関係. 日植病報 39 (3): 236 (講要)
387. 西山幸司・富永時任(1974)イネ科牧草のかさ枯病菌に関する研究 — 病原細菌の病原力とジャガイモ生組織に対する生理活性作用について. 日植病報 40 (3): 201 (講要)
388. 西山幸司・酒井隆太郎・江塚昭典・市原耿民・白石久二雄・小笠原恵美・佐藤博二・坂村貞雄(1976) *Pseudomonas coronafaciens* var. *atropurpurea*の生産する生理活性物質(4). 活性物質の純化. 日植病報 42 (1): 115 (講要)
389. 西山幸司・酒井隆太郎・江塚昭典・市原耿民・白石久二雄・坂村貞雄(1976)かさ枯病罹病イタリアンライグラス葉からのコロナチンの抽出. 日植病報 42 (3): 361 (講要)
390. 西山幸司・江塚昭典(1977)ラフ型集落を呈するライグラス類かさ枯病細菌の分離例. 日植病報 43 (1): 74 (講要)
391. 西山幸司・酒井隆太郎・江塚昭典・市原耿民・白石久二雄・坂村貞雄(1977)各種植物に対するコロナチンの毒性. 日植病報 43 (1): 122-123 (講要)
392. 西山幸司・江塚昭典(1977)イタリアンライグラスかさ枯病の病斑形成に関与する要因. 日植病報 43 (3): 349 (講要)
393. 西山幸司・江塚昭典(1978)イタリアンライグラスかさ枯病細菌による感染成立に関与する要因. 日植病報 44 (1): 60 (講要)
394. 西山幸司・西原夏樹・江塚昭典(1978) *Pseudomonas alboprecipitans* によるシコクビエ褐条病(新称). 日植病報 44 (1): 108 (講要)
395. 西山幸司・西原夏樹・江塚昭典(1979) *Pseudomonas alboprecipitans* によるシコクビエ褐条病. 日植病報 45 (1): 25-31
396. 西山幸司・江塚昭典(1979)コロナチン産生細菌の細菌学的ならびに血清学的性質. 日植病報 45 (1): 82-83 (講要)
397. 西山幸司・江塚昭典(1979) *Pseudomonas coronafaciens* var. *atropurpurea*の細菌学的性質, 特に非病原性株について. 日植病報 45 (4): 556 (講要)
398. 西沢正洋・西 泰道(1965)サトウキビモザイク病に関する研究(予報). 日植病報 30 (2): 87 (講要)
399. 野田 博・松岡匡一(1972)暖地型牧草の有望草種. 四国農業の新技術 9: 3-32
400. 農林省農林水産技術会議事務局編(1963)飼料作物の種, 品種ならびに系統の解説. 第1部, 品種解説 1: 1-206

401. 農林省農林水産技術会議事務局編(1974)飼料作物の品種解説. 198p. 日本飼料作物種子協会. 浦和市.
402. 落合 正〔(1970)〕雪腐病(*Typhula* spp., *Fusarium nivale*)の発生とその誘因調査. グリーンキーパー協会資料調査報告書, 各種芝草管理の実際1: 1-12
403. 落合 正(1971)昭45年度雪腐病(*Typhula* spp., *Fusarium nivale*)の発生とその誘因調査(その2), グリーン 27: 21-25
404. 尾形 保・田野良衛(1964)牧草の夏枯れ現象に及ぼす土壌並びに植物栄養条件に関する研究. 第3報. ラジノクロール根の土壌中での分解に及ぼす土壌の種類と地温の影響(その1), 日草誌 10(1): 56(講要)
405. 大畑貫一(1974)シコクビエいもち病. 四国植防研究 9: 61-63
406. 岡部 俊・吉岡昌二郎・土屋 茂(1972)イタリアンライグラスにおける耐雪性の品種, 系統間差異. 日草誌 18(2): 130-132
407. 岡部 俊(1975)イタリアンライグラスの育種に関する基礎的研究 — とくに耐雪多収性選抜に対する作物学的考察. 北陸農試報告 17: 129-284
408. 岡部徳夫(1949)植物細菌病学. 424p. 朝倉書店. 東京.
409. 岡部徳夫・後藤正夫(1955)日本における植物細菌病, I. 細菌病及びその病菌の種類について. 静岡大農研報 5: 63-71
410. 岡田 大・後藤重喜・西原夏樹(1975)バヒアグラス炭そ病(新病害)について. 日植病報 41(1): 109-110(講要)
411. 岡田 大・後藤重喜・西原夏樹(1975)バヒアグラスの新病害炭そ病について(予報). 九州農業研究 37: 96
412. 岡田 大・後藤重喜(1979)イタリアンライグラスいもち病の宮崎県における発生. 日植病報 45(1): 92(講要)
413. 岡田 大・後藤重喜(1979)イタリアンライグラスいもち病の宮崎県における発生. 九州農業研究 41: 72
414. 大神田 賢・丹下賀敬・丹田誠之助・松壽誠道(1964)日本産麦角菌 *Claviceps* sp. の生理的分化に関する研究. 第4報. 種間・寄主間における窒素源の利用性. 日植病報 29(2): 69(講要)
415. 大久保良一・筒井孝宣・細辻豊二(1967)芝生の新病害 *Physoderma* 病について(予報). 日植病報 33(5): 313(講要)
416. 尾上孝利・谷 利一・都崎芳久・内藤中人(1973)黄化シバのマイコプラズマ様顆粒と葉緑体変性. 日植病報 39(2): 163(講要)

417. 大隅俊助(1962)河北町(山形県)に見られる麦角。採集と飼育 **24** (12): 29-32
418. 太田 庸・飯田 格(1966)刈取高さおよび刈取時期と牧草病害発生との関係について。北日本病虫研会報 **17** : 59
419. 尾崎政春(1976)オーチャードグラス雪腐大粒菌核病の感染時期。1. 病原菌子のう胞子の生存期間。日植病報 **42** (1) : 97 (講要)
420. 尾崎政春(1977)オーチャードグラス雪腐大粒菌核病の感染時期。2. 本病菌子のう胞子の発芽時期と推移。日植病報 **43** (1) : 109 (講要)
421. 尾崎政春(1979)イネ科牧草雪腐大粒菌核病の感染条件。日植病報 **45** (4) : 541 (講要)
422. 尾添 茂・川本亮三・奥井忠良(1955)カモジグサ属植物に発生した黄锈病について(予報)。植物防疫 **9** (3) : 94-95
423. 尾添 茂(1956)大麦雲形病に関する研究。島根農試研究報告 **1** : 1-122
424. 尾添 茂・川本亮三・高見松夫(1957)小麦黒锈病菌のカモジグサへの自然感染について(予報)。植物防疫 **11** (4) : 139-140
425. 尾添 茂・川本亮三(1959)産地を異にしたアオカモジグサ、カモジグサの麦黄锈病菌に対する感受性の比較。島根農試研究速報 **4** : 1-12
426. 尾添 茂・川本亮三(1960)麦黄锈病菌とイネ科植物、特にカモジグサの感受性。日植病報 **25** (1) : 53 (講要)
427. 尾添 茂(1961)麦類黄锈病菌夏孢子世代の越年に関する生理生態学的研究。島根農試研究報告 **4** : 1-171
428. 尾添 茂・川本亮三(1962)麦類黒さび病菌の越夏越冬並びに第一次伝染源の究明に関する特殊調査。病虫発生予察特別報告 **11** : 85-139
429. 尾添 茂・川本亮三(1962)麦類黄さび病菌の越夏越冬並びに第一次伝染源の究明に関する特殊調査。病虫発生予察特別報告 **12** : 37-209
430. 尾添 茂(1966)ムギ類黄さび病の伝染源と諸問題。植物防疫 **20** (9) : 383-386
431. 尾添 茂(1967)ムギ類黄さび病菌の越年に関する生理生態学的研究。日植病報 **33** (3) : 129-131 (学会賞受賞講要)
432. 尾添 茂(1967)麦類黄さび病の生態と防除法。農および園 **42** (10) : 1537-1540
433. 雑賀 優(1972)わが国における牧草育種。育種 **22** (4) : 253-255
434. 斉藤健一・中山林三郎(1972)イネ科牧草に関する育種学的研究。第2報。オーチャードグラス品種「月寒在来」の黒锈病抵抗性および葉色の変異性。弘前大農学術報告 **18** : 81-95
435. 斉藤 正(1958)禾本科牧草存び麦類の雪腐病に関する研究。日草誌 **3** (3・4) :

436. 齊藤 正(1960)牧草病害の種類と発生の概要 — とくに北陸地方の主要病害について. 農業技術 15(5) : 204-208
437. 齊藤 正(1961)オーチャードグラスに発生する病害の種類とその季節的消長. 北陸病虫研会報 9 : 70-75
438. 酒井隆太郎・美濃羊輔(1979)チモシー斑点病菌 *Cladosporium phlei* によるフラクトサンの分解. 日植病報 45(5) : 603-607 (英文)
439. 阪本寧男(1969)アビシニア高原栽培植物採集の旅(2). 化学と生物 7(7) : 431-436.
440. 佐久間 勉・成田武四(1958)チモシー斑点病原菌の越冬態並びに第1次伝染源について. 北農 26(5) : 9
441. 佐久間 勉(1959)チモシー斑点病菌 (*Heterosporium phlei* Greg.) の生理的性質と本病発生推移との関係について. 日植病報 24(1) : 64 (講要)
442. 佐久間 勉・成田武四(1960)オーチャードグラス雪腐大粒菌核病に関する研究. 日植病報 25(1) : 14 (講要)
443. 佐久間 勉(1960)チモシーの微量要素欠乏と *Heterosporium phlei* に対する罹病との関係. 日植病報 25(1) : 61 (講要)
444. 佐久間 勉・成田武四(1960)禾本科牧草の雪腐大粒菌核病菌について. 日植病報 25(1) : 61 (講要)
445. 佐久間 勉・成田武四(1961)チモシー斑点病菌とその病原菌 *Heterosporium phlei* Gregory について. 北海道立農試集報 7 : 77-89
446. 佐久間 勉・成田武四(1963)イネ科牧草, とくにオーチャードグラスの雪腐大粒菌核病について. 北海道立農試集報 11 : 68-84
447. 佐久間 勉・兼子達夫・荒木隆男(1973)イタリアンライグラス麦角病防除に関する2, 3の知見. 日植病報 39(2) : 154 (講要)
448. 佐久間 勉(1975)草地学最近10年間における研究の進歩 — 病害. 日常誌 20(特別号) : 28-31
449. 桜井義郎(1963)牧草・飼料作物の病害 — 糸状菌病 — 西南暖地 — イネ科飼料作物. 植物防疫 17(10) : 403-406
450. 鯨島常喜・寺中理明・長江春季・西沢正洋(1969)ダリスグラス炭疽病抵抗性検定のための接種法. 日植病報 35(5) : 364 (講要)
451. 鯨島常喜・長江春季・渡辺文吉郎(1971)オーチャードグラス炭そ病の発病程度と被害との関係. 九州病虫研会報 17 : 40-41
452. 佐々木三男(1938)蕒苡葉枯病に関する研究(予報). 1. 病虫雑 25(12) : 902-908

453. 佐々木三男(1939)薏苡葉枯病に関する研究(予報). 2. 病虫雑 26(2): 115-122
454. 佐藤博保・大山一夫(1978)ローズグラス試験研究の集録. 九州農試研究資料 57: 1-40
455. 佐藤尚雄(1979)夏作物新品種の紹介 — 昭和54年度農林省登録. 育雑 29(4): 328-340
456. 佐藤邦彦・太田 昇・庄司次男(1955)苗畑における雑草と針葉樹種苗の立枯病との関係. 林試研報 77: 1-14
457. 佐藤邦彦・庄司次男(1957)苗畑のイネ科雑草から分離した *Rhizoctonia solani* Kühn の病原性. 林試研報 96: 89-104
458. 佐藤昭二(1957)カモシグザ属植物の麦類銹病菌に対する感受性. 日植病報 22(1): 42(講要)
459. 沢田兼吉(1919)台湾産菌類調査報告. 1. 台湾農試特別報告 19: 1-695 図版〔台菌調1〕
460. 沢田兼吉(1922)台湾産菌類調査報告. 2. 台湾中央研農業部報告 2: 1-173 図版〔台菌調2〕
461. 沢田兼吉(1928)台湾産菌類調査報告. 4. 台湾中央研農業部報告 35: 1-123 図版〔台菌調4〕
462. 沢田兼吉(1942)台湾産菌類調査報告. 7. 台湾農試報告 83: 1-170 図版〔台菌調7〕
463. 沢田兼吉(1943)台湾産菌類調査報告. 8. 台湾農試報告 85: 1-130 図版〔台菌調8〕
464. 沢田兼吉(1943)台湾産菌類調査報告. 9. 台湾農試報告 86: 1-178 図版〔台菌調9〕
465. 沢田兼吉(1944)台湾産菌類調査報告. 10. 台湾農試報告 87: 1-96 図版〔台菌調10〕
466. 沢田兼吉(1951)東北地方菌類調査報告(I). 粉病菌科. 林試研報 50: 97-140
467. 沢田兼吉(1952)東北地方菌類調査報告(II). 子囊菌類及び原菌類. 林試研報 53: 135-194.
468. 沢田兼吉(1952)東北地方菌類調査報告(III). 銹菌類. 林試研報 57: 1-85
469. 沢田兼吉(1958)東北地方菌類調査報告(IV). 不完全菌類. 林試研報 105: 35-140
470. 沢田兼吉(1959) Descriptive catalogue of Taiwan (Formosa) fungi XI. Colle. Agric. Nat. Taiwan Univ. Special Pub. 8: 1-268 Pl〔台菌調11〕

471. 関沢 博・橋本 保(1964)牧草の病害に関する研究．その2.層別刈取りによる主要病害の発生部位と発生消長．北日本病虫研会報 15 : 65-66
472. 関塚清蔵(1962)牧草ライグラス類の採種に関する研究(3)．畜産の研究 16(3):405-408
473. 関塚清蔵・宝示戸貞雄・向山新一・吉山武敏(1964)イタリアンライグラス那系4号の育成経過とその特性．日草誌 9(2): 125 (講要)
474. 関塚清蔵(1964)イタリアンライグラス及びオーチャードグラスの新系統の育成並に採種に関する研究．日草誌 10(1): 37-38 (講要)
475. 重永知明・古山 寛(1963)熊本県における飼料作物病害発生状況調査．九州病虫研会報 9 : 8-10
476. 島袋俊一(1960)琉球列島の栽培植物に寄生する銹菌類．琉球大農家政工学術報告 7 : 315-327
477. 島袋俊一(1961)琉球列島におけるサビ菌類の分布と種類に関する考察．琉球大農家政工学術報告 8 : 1-142 (英文)
478. 島袋俊一・田盛正雄(1961)与那国島の銹菌類．琉球列島共同調査報告 1:30-40
479. 島袋俊一・田盛正雄(1961)沖縄群島の黒穂菌類．琉球大農家政工学術報告 8 : 143-147 図版
480. 島袋俊一・田盛正雄(1961)徳之島，沖永良部島および与論島の黒穂菌類．琉球大農家政工学術報告 8 : 149-150
481. 嶋田玄祢(1939)京都附近に産する一麦角に就いて．野外植物 1 : 57-65
482. 島貫忠幸・荒木陸男・吉原照彦・坂村貞雄(1976)チモンシー斑点病菌の産生する毒素物質について．日植病報 42(1): 93-94 (講要)
483. 島貫忠幸・荒木陸男(1977)イネ科牧草の褐色雪腐病菌について．日植病報 43(1): 108-109 (講要)
484. 島貫忠幸・荒木陸男(1978)チモンシー斑点病菌の産生する毒素 phleiochrome の2, 3の作用．日植病報 44(1): 75-76 (講要)
485. 島貫忠幸・荒木陸男(1979)チモンシー斑点病罹病組織のフェノール性物質について．日植病報 45(1): 118 (講要)
486. 進藤武郎(1972)昭和47年のペレニアルライグラスの新品種解説．農業技術 27(11): 507-509
487. [進藤武郎](1974)ペレニアルライグラス．飼料作物の品種解説: 26-32
488. 新海 昭(1955)北地ムギ類モザイク病の寄生植物追加．日植病報 19(3-4):

489. 新海 昭(1960)ムギ北地モザイク病, 植物ウイルス病(日高 醇ほか編). 朝倉書店. 東京. pp. 275-277
490. 新海 昭(1962)稲ウイルス病の虫媒伝染に関する研究. 農技研報告 C, 14 : 1-112
491. 白井光太郎(1905)日本菌類目録. 124p. 日本園芸研究会. 東京.
492. 白井光太郎(1907)植物病理学. 498p. 訂正版. 嵩山房. 東京.
493. 白石雅也・山本茂博・浅田泰次(1975)シバ類ブラウンパッチに関する研究(1). リゾクトニア属菌を接種したシーサイドベントグラスの走査電顕像. 日植病報 41(1) : 106 (講要)
494. 白坂信己・茨木忠雄(1962)麦類黄さび病菌の越冬及びに第一次伝染源の究明に関する特殊調査. 病害虫発生予察特別報告 12
495. 末松直次・岡田大次郎(1920)稲胡麻葉枯病と禾本科雑草の關係に就いて. 農学会報 214 : 443-446
496. 末松直次(1920)稲胡麻葉枯病と禾本科雑草の關係に就いて(2). 農学会報 217 : 655-657
497. 末岡基義(1953)小麦白渋病菌及びカモシグサ白渋病菌に対する小麦属植物及びその近縁種の抵抗性に就いて. 育雑 3(1) : 56 (講要)
498. 菅原〔敏夫〕(1960)輸入種子に菌類, 麦角及び土壤混入. 横浜植防ニュース 160 : 1
499. 菅原 毅・村里正八・渡部 仁(1966)イタリアンライグラスの再生葉における斑点性病害の発生について. 日草誌 11(4) : 223-224 (講要)
500. 菅原 毅・村里正八・小島昌也・渡部 仁(1967)イタリアンライグラスの選抜における栽植様式が斑点性病害(斑点病, かさ枯病, 細菌病)の発生に及ぼす影響について. 日草誌 13(1) : 32-38
501. 菅原 毅・村里正八・小島昌也・渡部 仁(1967)イタリアンライグラスの選抜における栽植様式と斑点性病害との關係. 日草誌 13(別号) : 25 (講要)
502. 菅原 毅・村里正八・渡部 仁・小島昌也(1967)イタリアンライグラス斑点性病害の発病程度の評価方法について. 日草誌 13(別号 2) : 14-15
503. 杉本 堯・西原夏樹・若井田正義・寺中理明(1973)関東・東北地方で新たに発見された牧草の病害. 日植病報 39(3) : 192 (講要)
504. 杉山正樹(1966)イネ蒔葉枯病の発生予察方法に関する研究. 第1報. 指標植物の種類について. 日植病報 32(2) : 83 (講要)
505. 杉山正樹・松本邦彦・中田栄一郎・堀 真雄(1973)ライグラス類冠さび病に対す

- るライグラス類品種の抵抗性に関する研究. (2). 品種間の幼・成植物との抵抗性.
日植病報 **39** (3) : 193 (講要)
506. 杉山正樹・松本邦彦・中田栄一郎(1974)ライグラス類冠さび病の発生生態に関する研究, (1). 発生経過について. 日植病報 **40** (2) : 135 (講要)
507. 杉山正樹・松本邦彦・中田栄一郎(1975)ライグラス類冠さび病の発生生態に関する研究, (2). 寄主体上夏胞子の周年活力について. 日植病報 **41** (1) : 94 (講要)
508. 杉山正樹・松本邦彦・中田栄一郎(1975)ライグラス類冠さび病の発生生態に関する研究, (3). 夏胞子の飛散について. 日植病報 **41** (3) : 248 (講要)
509. 杉山正樹・中田栄一郎・松本邦彦 (1976)ライグラス類冠さび病の発生生態に関する研究, (4). 肥料要素および播種期の早晩と発病. 日植病報 **42** (1) : 75 (講要)
510. 杉山正樹・中田栄一郎・松本邦彦(1977)ライグラス類冠さび病の発生生態に関する研究, (6). 冬胞子堆の形成条件について. 日植病報 **43** (1) : 89 (講要)
511. 杉山正樹・松本邦彦・中田栄一郎(1977)山口県におけるライグラス類冠サビ病の発消長について. 山口農試研報 **28** : 145-150
512. 杉山正樹・松本邦彦・中田栄一郎(1977)ライグラス類冠さび病の被害に関する研究, (1). 量的被害について. 日植病報 **43** (1) : 91 (講要)
513. 杉山正樹・松本邦彦・中田栄一郎(1978)ライグラス類冠さび病の被害に関する研究, (2). 採食性について. 日植病報 **44** (1) : 83 (講要)
514. 杉山正樹・岡田 大・松本邦彦(1979)宮崎県で発生したイタリアンライグラスいもち病 — 寄主範囲及び品種間差異. 日植病報 **45** (1) : 99 (講要)
515. 杉山正樹・松本邦彦・中田栄一郎(1979)ライグラス類冠さび病が収量及び牛の嗜好性に及ぼす影響. 山口農試研報 **31** : 117-122
516. 杉山正樹(1979)飼料作物病害の現状と問題点. 植物防疫 **33** (3) : 126-128
517. 鈴木直治・笠井久三・中屋 完・荒木隆男・高梨友子(1957)小麦立枯病に関する研究 (第1報). 自然条件下における感染経過. 農技研報告 C, **7** : 1-63
518. 田部井英夫・西原夏樹(1958)パールミレットの条斑性細菌病. 日植病報 **23** (1) : 43 (講要)
519. 田浜康夫(1972)ゴルフ場におけるシバ病害の実態調査(1). 日植病報 **38** (3) : 182 (講要)
520. 田浜康夫(1973)ゴルフ場におけるシバ黄化葉の発病原因について. 日植病報 **39** (3) : 206 (講要)
521. 田浜康夫(1977)シバの病害について. 芝草研究 **6** (1) : 51-59
522. 但見明俊・西原夏樹(1964)オーチャードグラス黒さび病菌の夏胞子世代による越

- 冬、日植病報 **29** (5) : 259 (講要)
523. 但見明俊・西原夏樹(1964)オーチャードグラス黒さび病菌の越冬期における冬孢子世代について、日植病報 **29** (5) : 291 (講要)
524. 但見明俊(1965)オーチャードグラス黒さび病菌夏孢子における infection-type structure の形成とその形態、日植病報 **30** (5) : 266 (講要)
525. 但見明俊(1966)オーチャードグラスの黒銹病感染型および成熟抵抗性、日草誌 **12** (別号) : 18-19 (講要)
526. 但見明俊・西原夏樹(1967)飼料作物の種子粉衣消毒における殺菌剤粉衣量と種子の薬害について、日草誌 **12** (4) : 258 (演題)
527. 但見明俊(1967)オーチャードグラス黒銹病菌に認められた 2 菌系、日草誌 **13** (別号) : 25-26 (講要)
528. 但見明俊(1967)牧草の病害とその防除、稲と麦 **13** (2) : 17-21
529. 但見明俊(1968)オーチャードグラスの黒銹病感染型と圃場における罹病程度との関係、日草誌 **14** (別号) : 34 (講要)
530. 但見明俊(1968)オーチャードグラス黒銹病菌菌系の分布、日草誌 **14** (別号) : 34-35 (講要)
531. 但見明俊(1968)オーチャードグラスにおける黒銹病感染型の遺伝様式、I. 感染型を異にする栄養系の自殖 1 代の感染型、日草誌 **14** (3) : 204 (講要)
532. 但見明俊(1969)牧草・飼料作物の病害と防除(1)、畜産コンサルタント **5** (5) : 58-59
533. 但見明俊(1969)牧草・飼料作物の病害と防除(2)、畜産コンサルタント **5** (6) : 60-61
534. 但見明俊・深山喜三郎(1969)黒さび病がオーチャードグラス草地に及ぼす影響、日植病報 **35** (2) : 106 (講要)
535. 但見明俊・〔筒〕井佐喜雄(1970)チモンシ斑点病菌 *Heterosporium phlei* Gregory の分生孢子形成に関する 2, 3 の考察、日草誌 **16** (1) : 64. (講要)
536. 但見明俊(1970)オーチャードグラス黒銹病菌 3 菌系の病原性比較、日植病報 **36** (3) : 167 (講要)
537. 但見明俊(1970)耐病性利用による牧草の病害防除、畜産コンサルタント **6** (5) : 10-15
538. 但見明俊(1971)オーチャードグラス黒銹病感染型の遺伝様式、II. 感染型を異にする栄養系間の交雑第 1 代の感染型、日植病報 **37** (5) : 372-373 (講要)
539. 但見明俊(1971)牧草・飼料作物の病害防除、新農薬 **25** (3) : 15-23

540. 但見明俊(1972)オーチャードグラスの黒さび病抵抗性における遺伝子型と rust reaction. 日植病報 38(3): 181 (講要)
541. 但見明俊(1972)2倍体オーチャードグラス亜種の分布と黒銹病抵抗性との関係. 日草誌 18 (別号1): 96-97 (講要)
542. 但見明俊(1972)牧草地病害の現状と防除. 今月の農薬 16(12): 17-21
543. 但見明俊(1973)2倍体オーチャードグラス4亜種の黒銹病抵抗性. 草地試研報 2: 36-40 (英文)
544. 但見明俊(1973)オーチャードグラスにおける黒さび病菌 race に対する抵抗性遺伝子の連鎖および個体における遺伝子集積の様相. 日植病報 39(3): 192 (講要)
545. 但見明俊(1973)オーチャードグラス黒さび病菌の分化型について. 草地試研報 4: 57-69
546. 但見明俊(1973)黒さび病菌2菌系に対するオーチャードグラス抵抗性遺伝子の連鎖. 草地試研報 4: 70-76
547. 但見明俊(1974)オーチャードグラスにおける黒さび病抵抗性の四染色体的遺伝. 日草誌 20(1): 26-30 (英文)
548. 但見明俊(1974)オーチャードグラス品種の黒さび病抵抗性の一指標としての抵抗性遺伝子頻度. 日草誌 20(1): 34-36 (英文)
549. 但見明俊(1974)オーチャードグラスを侵す本邦産黒さび病菌の寄生性分化. 日植病報 40(3): 169 (講要)
550. 但見明俊(1974)牧草の耐病性と育種 — 植物病理学の立場から. 育種 24(1): 52-53
551. 但見明俊・成田武四(1974)北海道に発生したライグラス黒さび病について. 日植病報 40(3): 169 (講要)
552. 但見明俊(1974)同質四倍体オーチャードグラスにおけるアルビノおよび黒さび病抵抗性の分離. 日草誌 20 (別号2): 36-37
553. 但見明俊(1975)同質四倍体オーチャードグラスにおけるアルビノおよび黒さび病抵抗性の分離. 草地試研報 6: 58-65
554. 但見明俊(1975)本邦産オーチャードグラス黒さび病菌のレース. 草地試研報 6: 66-76
555. 但見明俊(1975)オーチャードグラス黒さび病抵抗性の遺伝と育種. 植物防疫 29(11): 452-456
556. 但見明俊(1975)ライグラス黒さび病菌の寄主範囲. 日植病報 41(3): 248 (講要)
557. 但見明俊(1975)イネ科草類に寄生する黒さび病菌三分化型のオーチャードグラス

- 栄養系による判別と保存. 日植病報 41 (4) : 412-414
558. 但見明俊(1975)ライグラス黒さび病菌の寄主植物の系統分類学的考察. 草地試研報 7 : 81-98
559. 但見明俊・筒井佐喜雄(1975)チモンシ斑点病菌 *Heterosporium phlei* Gregory の分生孢子形成に関する 2, 3 の観察. 日草誌 21 (4) : 227-233
560. 但見明俊(1976)オーチャードグラスにおける黒さび病菌夏孢子堆形成の遺伝的制御. 日植病報 42 (2) : 149-155
561. 但見明俊(1976)チモンシ黒さび病菌の寄主範囲. 日植病報 42 (3) : 334-335 (講要)
562. 但見明俊(1976)チモンシ黒さび病菌の寄主植物. 草地試研報 9 : 25-40
563. 但見明俊(1978)チモンシの黒さび病抵抗性. 日草誌 24 (2) : 113-117
564. 但見明俊(1978)チモンシの黒さび病抵抗性. 日草誌 24 (別号) : 101-102
565. 但見明俊(1978)本邦における黒さび病菌の分化. Gamma Field Symp. 17 : 23-30 (英文)
566. 但見明俊(1978)コムギ黒さび病菌の寄主植物. 草地試研報 13 : 79-102
567. 但見明俊(1979)コムギ黒さび病菌の寄主植物. 遺伝 33 (7) : 2-6
568. 但見明俊(1979)ブルーグラス黒さび病菌の寄主植物. 草地試研報 15 : 88-102
569. 但見明俊(1979)イネ科牧草黒さび病の抵抗性遺伝と寄生性分化. 190p. 京都大学博士論文.
570. 高橋 仁(1964)ローズグラスについて. 日草誌 10 (2) : 179-184
571. 高橋 仁(1964)夏型新牧草ローズグラスの栽培. 農業技術 19 (7) : 321-323
572. 高橋広治・飯塚典男・飯田 格(1963)盛岡における牧草病害の種類と発消長について. 北日本病虫研会報 14 : 60-61
573. 高橋 実・辻田 功(1961)芝草病害の生態的研究. (第1報). Brown patch 病原菌の生理生態. 日植病報 26 (2) : 76 (講要)
574. 高橋 実(1962)芝草病害特に土壤伝染性病害の生態と防除. グリーン研究報告集 2 : 23-28, 29-36
575. 高橋 実(1970)Pythium 菌の見分け方. 植物防疫 24 (8) : 339-344
576. 高梨和雄・岩田吉人(1962)オオタチカモジグサのから黒穂病菌について. 日植病報 27 (5) : 245 (講要)
577. 高野喜八郎(1967)青刈飼料作物の新病害(ヒエ煤紋病およびローズグラス斑点病). 日植病報 33 (5) : 329
578. 高田昌稔(1965)牧草種子に多い麦角の混入, ブルーグラス種子の麦角はほぼ完全

- に選別できる。神戸植防情報 409 : 113
579. 竹本常松(1944)内外野生麦角のアルカロイド含有調査(第1報)。定性試験。薬雑 64(4) : 225 - 228
580. 滝元清透(1959)続植物病害実験録(7)。芝のブラウン・パッチ (brown patch) とその防ぎ方。農薬研究 6(2) : 62 - 63
581. 滝元清透(1960)芝の病気の防ぎ方。特農叢書 35 - 3 : 1 - 7
582. 滝元清透(1966)続植物病害実験録 18。ゴルフ場芝の病害(1) *Fusarium* および *Pythium* の病害。農薬研究 12(3) : 44 - 49
583. 滝元清透(1966)続植物病害実験録 19。ゴルフ場芝の病害(2)。農薬研究 12(4) : 62 - 64
584. 滝元清透(1966)続植物病害実験録 20。ゴルフ場芝の病害(3)。農薬研究 13(1) : 74 - 76
585. 滝元清透(1966)続植物病害実験録(21) ゴルフ場芝の病害(4)。農薬研究 13(2) : 60 - 62
586. 滝元清透(1967)続植物病害実験録(23) ゴルフ場芝の病害(5)。ブラウンパッチ の薬剤防除試験。農薬研究 14(2) : 76 - 80
587. 滝元清透(1968)続植物病害実験録(26) ゴルフ場芝の病害(6)。褐色葉枯病。農薬研究 15(2) : 68 - 72
588. 滝元清透(1968)ゴルフ場芝の病害防除試験地の病原菌の調査報告。グリーン 22 : 44 - 49
589. 滝元清透(1969)続植物病害実験録, 28。ゴルフ場芝の病害(7)。犬の足跡病。農薬研究 16(2) : 78 - 80
590. 滝元清透(1970)続植物病害実験録, 29。ゴルフ場芝の病害(8)。洋芝の茎葉枯病。農薬研究 16(3) : 64 - 67
591. 滝元清透(1970)続植物病害実験録, 30。ゴルフ場芝草の病害(9)。ブラウンパッチの類似の病害。農薬研究 17(1) : 74 - 77
592. 田中長三郎(1919)芝生及牧地に於けるリゾクトニア。農学会報 208 : 1133.
593. 田中弘敬(1967)最近における牧草育種とその動行(1)。主として英国の牧草育種技術を中心に。畜産の研究 21(4) : 521 - 524
594. [田中弘敬](1974)オーチャードグラス。飼料作物の品種解説 : 33
595. 田中寛康・倉田 浩・赤井重恭(1963)多種の *Helminthosporium* 属菌ならびに *Curvularia* 属菌の水稲葉に対する反応。日植病報 28(5) : 286 (講要)
596. 田中一郎(1940)小麦に発生せる黄化萎縮病。日植病報 10(2-3) : 127 - 138

597. 田中一郎・成田武四(1944)北方の農作物病害. 163p. 北方文化出版社. 東京.
598. 田中良高・村田伸夫・加藤 肇(1977)イネいもち病菌とシコクビエいもち病菌の交雑による子嚢胞子形成過程における核および染色体の行動. 日植病報 43(1) : 73-74 (講要)
599. 田中良高・村田伸夫・加藤 肇(1979)イネおよびシナダレスズメガヤいもち病菌とシコクビエいもち病菌の交配による子のう胞子形成過程の核および染色体の行動. 日植病報 45(2) : 181-191 (英文)
600. 丹田誠之助・松壽誠道(1960)日本産麦角菌 (*Claviceps* sp.) の生理的分化に関する研究, (第1報) 特に *Claviceps purpurea* (Fr.) Tul. の寄生的生理系統について. 日植病報 25(5) : 239 (講要)
601. 丹田誠之助・比留間 実・松壽誠道(1961)麦角菌に関する基礎的研究. 第3報. *Claviceps purpurea* 培養分生胞子の発芽に及ぼす諸要因について. 日植病報 26(2) : 54 (講要)
602. 丹田誠之助・松壽誠道(1961)日本産麦角菌 (*Claviceps* sp.) の生理的分化に関する研究 (第1報). 特に *C. purpurea* の寄生的生理系統及び麦角の外部的特性に就て. 農学集報 6(4) : 323-340
603. 丹田誠之助・川谷豊彦(1962)麦角病菌に関する基礎的研究 (第4報). わが国における麦角病の分布と被害状況. 日植病報 27(2) : 66. (講要)
604. 丹田誠之助・高木茂明・松壽誠道(1962)日本産麦角病菌 *Claviceps* sp. の生理的分化に関する研究 (第2報). 抵抗性感受性植物の花粉が分生胞子発芽におよぼす影響. 日植病報 27(2) : 74 (講要)
605. 丹田誠之助(1963)日本産麦角病菌 *Claviceps* sp. の生理的分化に関する研究 (第3報). *Cl. purpurea* (Fr.) Tul. 生理系統に対する *Poaideae* 各植物の属・種間における抵抗性の差異. 日植病報 28(2) : 70-71 (講要)
606. 丹田誠之助(1964)麦角病菌に関する基礎的研究 (第5報). チガヤ外2, 3植物に形成した麦角の子実体について. 日植病報 29(2) : 69-70 (講要)
607. 丹田誠之助・川谷豊彦(1964)麦角病菌の基礎的研究 (第2報). ライムギの麦角病菌に対する抵抗性と麦角のアルカロイド含量に及ぼす施肥量並びに播種期の影響. 農学集報 9(4) : 178-186
608. 丹田誠之助(1965)麦角病菌の基礎的研究 (第3報). 寄生量及び寄生位置による麦角形態の変化. 農学集報 10(4) : 116-118
609. 丹田誠之助(1965)麦角病菌の基礎的研究 (第4報). 麦角の発生及び生育と気温, 日照の関係. 農学集報 11(2・3) : 75-80

610. 丹田誠之助(1966)麦角病菌の基礎的研究(第5報). *Claviceps purpurea* (Fr.) Tul.の寄生に及ぼす各種条件について(1). 農学集報 11(4): 155-162
611. 丹田誠之助・多田隈美文・松壽誠道(1966)麦角病菌に関する基礎的研究(第6報). 各種麦角の毒性に関する実験. 日植病報 32(2): 72-73(講要)
612. 丹田誠之助(1968)麦角病菌に関する基礎的研究(第7報). *Cl. purpurea* (Fr.) Tul. に対する *Secale* 属種間雑種の抵抗性. 日植病報 34(3): 175-176(講要)
613. 丹田誠之助(1968)麦角病菌の基礎的研究(第6報). 麦角に寄生あるいは着生する菌類について. 農学集報 12(3-4): 115-126
614. 丹田誠之助(1968)麦角病菌の基礎的研究(第7報). 野生・栽培両麦角のアルカロイド含量. 農学集報 13(2): 55-60
615. 丹田誠之助・多田隈美文・松壽誠道(1968)麦角病菌の基礎的研究(第8報). マウスによる麦角の毒性試験. 農学集報 13(2): 61-67
616. 丹田誠之助(1971)日本産麦角病菌 *Claviceps* sp. の生理的分化に関する研究(第5報). 白色変異麦角に関する知見. 日植病報 37(3): 157-158
617. 丹田誠之助(1972)麦角病菌の基礎的研究(第9報). 白色変異麦角に関する知見. 農学集報 16(3-4): 241-248
618. 丹田誠之助・釜野井正男(1973)麦角病菌の基礎的研究(第10報). *Secale* 属植物の種および種間雑種に対する *Claviceps purpurea* (Fr.) Tul. の寄生性と麦角の形成. 農学集報 17(4): 314-325
619. 丹田誠之助(1978)日本列島所産の麦角(第4報). オオアワガエリ(チモシー)に発生する *Claviceps purpurea* Tul. の2変種. 農学集報 23(2): 141-150
620. 丹田誠之助(1978)日本列島所産の麦角(第5報). オオカニツリ(トールオートグラス)の麦角病菌. 農学集報 23(2): 151-157
621. 丹田誠之助(1979)日本列島所産の麦角(第7報). 3種のスカボ属(*Agrostis*)植物より得た麦角病菌. 農学集報 23(3-4): 215-221
622. 丹田誠之助(1979)日本列島所産の麦角(第9報). クサヨシ属植物(*Phalaris* spp.)より得た *Claviceps purpurea* Tul. の2変種とその生理的系統. 農学集報 24(1): 79-95
623. 丹田誠之助(1979)日本列島所産の麦角(第10報). シラゲガヤ(ペルベットグラス)の麦角病菌. 農学集報 24(2): 145-148
624. 谷田義弘(1971)米国産バヒアグラス種子にたんそ病菌. 神戸植防情報 607: 43

625. 田杉平司(1929)麦類雪腐病の病原菌に就いて. 農事試験報 1(1): 45—56
626. 田杉平司(1931)水稻の黄斑性萎縮病に関する研究. 日植病報 2(4): 378—379
(講要)
627. [寺田康道・吉山武敏](1974)ダリスグラス. 飼料作物の品種解説: 76—78
628. 寺中理明・長江春季・木原清光・篠田辰彦(1970)九州に発生する牧草病害に関する研究.(1). 阿蘇放牧地に発生する牧草病害. 九州病虫研会報 15: 18—20
629. 寺中理明・長江春季・鮫島常喜・新留伊俊(1970)レッドトップ冠さび病. 九州病虫研会報 16: 124—125
630. 寺中理明・山田直芳・但見明俊(1975)各種ペプトン培地におけるオーチャードグラス黒さび病菌の infection-type structure の形成. 宇都宮大農学術報告 9(2): 1—10
631. 栃内吉彦・宇井格生(1954) *Pellicularia filamentosa* による畑作物の「葉腐れ病」(新称). 農及園 29(4): 555—556
632. Togashi, K. and Onuma, F. [富樫浩吾・大沼房治](1934) A list of parasitic fungi collected on Mt. Hayachine, Iwate Prefecture. 盛岡高農学術報告 17: 1—74
633. 富樫浩吾(1936) New species of parasitic fungi. I. 札幌博報 14(4): 280—285
634. 富樫浩吾(1936) A contribution on the parasitic-fungi flora of Mt. Iwate, Iwate Prefecture. 盛岡高農学術報告 22: 1—61
635. 富樫浩吾・平塚直秀(1937). ノジャップ半島に於ける植物寄生菌類. 札幌農林会報 16(68): 75—81
636. 富樫浩吾・雪ノ浦参之助(1937)馬の築川病に關聯する築川村放牧地の植物学的調査. 162 p. 岩手県. 図版.
637. 富樫浩吾(1939)放牧地と寄生菌の問題. 日植病報 9(2): 134—135 (講要)
638. 富樫浩吾(1940)牧野と寄生菌の問題. 植及動 8(1): 179—186
639. 富樫浩吾(1941)馬の築川病に関する麦角菌の研究. 第1報. 麦角其他の金魚に対する有毒性. 日植病報 10(4): 352—354 (講要)
640. 富樫浩吾(1942)シバクサ麦角菌の形態並に生態の研究. 日植病報 12(1): 1—13.
641. 富樫浩吾(1942)麦角の外部形態. 植雑 56(662): 74—81
642. 富樫浩吾・川村正三(1942)岩手県に於ける栽培植物病害の基礎的調査. 第1報. 昭和16年度. 岩手農試彙報 8: 1—28
643. 富樫浩吾・川村正三・八木三郎(1943)岩手県に於ける栽培植物病害の基礎的調査.

第2報. 昭和17年度. 岩手農試彙報 10 : 1-48

644. 富樫浩吾・菅原寛夫・工藤三郎(1946)岩手県に於ける栽培植物病害の基礎的調査.
第3報. 昭和18, 19年度. 岩手農試彙報 11 : 1-57

645. 富樫浩吾・香月繁孝(1952) New or noteworthy parasitic fungi in Japan. II 横浜国立大研報 2 : 1-7

646. 徳永芳雄(1934)日本産麦角菌の研究(第1報). 日植病報 4 (1-2) : 113-114
(講要)

647. 富永時任(1962)ライグラス類(*Lolium* spp.)の葉枯病(新称)について. 日植病報 27 (2) : 64 (講要)

648. 富永時任(1963)牧草・飼料作物の病害 — 細菌病. 植物防疫 17(10) : 411-416

649. 富永時任(1964)テオシントの条斑細菌病. 日菌報 5(1) : 27 (演題のみ)

650. 富永時任(1967) *Pseudomonas andropogonis* (E. F. Smith) Stapp によるテオシントの条斑細菌病. 日草誌 13(3) : 156-159

651. 富永時任(1967) *Xanthomonas translucens* f. sp. *hordei* Hagborg によるオーチャードグラスの黄枯細菌病. 日細菌雑 22 (11) : 628-633

652. 富永時任(1968) *Pseudomonas setariae* (Okabe) Savulescu によるブロームグラスおよびホイトグラスの褐条病. 日細菌雑 23 (3) : 176-183

653. 富永時任(1968)ライグラス, ブロームグラスおよびフェスクのかさ枯病. 日植病報 34 (4) : 242-249

654. 富永時任(1969) *Xanthomonas agropyricolan.* sp. によるホイトグラスの黒すじ細菌病. 日植病報 35 (5) : 354. (講要)

655. 富永時任(1970)飼料作物の病気カラースライド集, (天然色病虫害大系, 7, 飼料作物の病虫害シリーズ, その1) 農文協. 東京. (カラースライド100, テキスト 66p.)

656. 富永時任(1971)日本における牧草および飼料作物の病害に関する研究. I. 関東東山地域の牧草および飼料作物の病害調査, 農技研報告 C. 25 : 189-204

657. 富永時任(1971)日本における牧草および飼料作物の病害に関する研究. II. 日本における牧草および飼料作物細菌病の病原学的研究, 農技研報告 C. 25 : 205-306

658. 富永時任(1971) *Pseudomonas alboprecipitans* によるダリスグラスの褐条病, 日植病報 37 (5) : 368 (講要)

659. 富永時任(1971)越年牧草の大敵雪グサレ病 — 雪グサレ病の正体と予防法. 現代農業 50 (12) : 198-201

660. 鳥山重光・寺中理明・与良 清・明日山秀文(1965)各種イネ科植物モザイク病株からの Sugar cane mosaic virus (ScMV)の検出. 日植病報 30(5):264 (講要)
661. 鳥山重光・与良 清・明日山秀文(1968)イネ科植物から検出されたひも状ウイルス3種について. 日植病報 34(3): 199 (講要)
662. 鳥山重光・与良 清(1972)イネ科植物とくに野草に発生するウイルス病に関する研究. 68 p. 東大出版会. 東京.
663. 鳥山重光・与良 清(1979)東北地方に発生しているオーチャードグラスのモザイク病について. 日植病報 45(4): 565 (講要)
664. 坪木和男・土屋貞夫・尾崎政春(1973)根釧地方におけるオーチャードグラス雪腐大粒菌核病の発生実態について. 日植病報 39(2): 154 (講要)
665. 坪木和男(1974)オーチャードグラス雪腐大粒菌核病の積雪下での蔓延について. 日植病報 40(2): 117 (講要)
666. 坪木和男(1979)雪腐大粒菌核病菌の子のう盤形成について. 日植病報 45(1):118-119 (講要)
667. 土屋貞夫・尾崎政春(1967)根釧地方に発生する牧草病害. 北農 34(11): 34-49
668. 土谷三之助(1969)麦角混入の牧草種子を返送. 名古屋植防月報 91: 3-4
669. 土屋 茂・岡部 俊(1962)牧草類の耐雪性に関する研究. 1. イネ科三草種の耐雪性とその系統間差異. 日草誌 8(2): 153 (講要)
670. 土屋 茂・岡部 俊(1965)イタリアンライグラスの雪腐病被害についての2, 3の考察. 日作北陸会報 1: 59-61
671. 津田盛也・上山昭則・中川 仁・多賀正節(1977)菌類の性因子の化学生物学的研究(18). イネいもち病菌の完全世代形成条件の検討. その3. 日植病報 43(1): 87 (講要)
672. 津田盛也・上山昭則・西原夏樹(1977)菌類の性因子の化学生物学的研究(20) *Cochliobolus nisikados* sp. nov., *Helminthosporium coicis* Nisikado の完全世代. 日植病報 43(1): 88. (講要)
673. 津田盛也・上山昭則(1979)邦産 *Cochliobolus cynodontis*, *C. bicolor*, *C. chloridis* の培地上における子のう時代形成. 日植病報 45(4): 540. (講要)
674. 辻田 功・松本美也子(1961)芝草病害の生態学的研究. 第1報. Brown patch 病原菌の生態生理. グリーン研究報告集 1: 46-49.
675. 辻田 功・和田日出夫(1962)芝草病害病原菌の生態生理. 第2報. 各地産リゾクトニア属菌の生態及び防除効果. グリーン研究報告集 2: 96-103.

676. 辻田 功・松本美也子(1962)芝草病原菌の生理生態. 第3報. ピシウム属菌 (*Pythium* spp.) の生理. グリーン研究報告集2: 104-108
677. 辻田 功・松本美也子(1962)西洋芝種子消毒について. 水銀剤による種子消毒の
効果及びその影響. その1.昇汞 (HgCl_2) による種子消毒. グリーン研究報告集
2: 109-112
678. 辻田 [功] (1962)芝草病害の環境による影響. 栄養, 酸度, 土壤湿度がリゾクト
ニアブラウンプッチに及ぼす影響. グリーン研究報告集2: 117-119 (抄訳)
679. 辻田 功・和田日出夫・松本美也子(1962)芝草病原菌の生理生態. 第4報. 各地
産リゾクトニア属菌に対する各種土壌殺菌剤の基礎防除. グリーン研究報告集3
: 72-78
680. 辻田 功・高橋 実(1962)芝草病害の生態学的研究. 第2報. 日植病報27(2):
66-67 (講要)
681. 筒井佐喜雄(1977)耐病性育種の最近の成果と問題点. 育種学最近の進歩18: 76
-85
682. 堤 泰孝(1969)麦角混入で返送相次ぐ牧草種子 — 横浜. 横浜植防ニュース385
: 3
683. 植田精一・内堀甲子生(1966) *Lolium* 属牧草の生理生態的特性に関する研究.
1. ペレニアルライグラス, 短年性ライグラスの冠銹病抵抗性の品種間差異. 日草
誌12(4): 258 (講演題目)
684. 植田精一・内堀甲子生(1967) *Lolium* 属牧草の生理生態的特性に関する研究.
III. 冠銹病抵抗性と生存株率の関係. 日草誌13(別号): 24
685. 植田精一・内堀甲子生(1968) *Lolium* 属牧草の生理生態的特性に関する研究.
第1報. 冠銹病抵抗性の品種間・系統間差異および収量との関係. 日草誌14(3)
: 155-162
686. [植田精一](1969)[昭和44年度の新品種解説, チモシー「センボク」]. 農業技
術24(10): 481-482
687. 植田精一・真木芳助・田辺安一・島田 徹・中山貞夫・筒井佐喜雄(1971)チモシ
ー新種優良系統「センボク」について. 北農38(2): 1-7
688. 植田精一(1974)チモシー (*Phleum pratense*) における耐病性育種の現状と問
題点. 育種24(1): 51-52
689. [植田精一](1974)チモシー. 飼料作物の品種解説: 43-48
690. [植田精一](1974)ブROOMグラス類. 飼料作物の品種解説: 58-60
691. 植田精一・増谷哲雄・樋口誠一郎・古谷政道・筒井佐喜雄(1977)チモシー新品種

- 「ノサップ」の育成について。北海道立農試集報 38 : 34 : 46
692. 植田精一・増谷哲雄・古谷政道・樋口誠一郎・筒井佐喜雄(1977)チモシー新品種「ホクシュウ」の育成について。北海道立農試集報 38 : 47-61
693. 上山昭則・津田盛也(1975)イネ科植物から分離した *Pyricularia* 属菌の培地上における完全世代の形成(予報)。日菌報 16(4): 420-422(英文)
694. 上山昭則・津田盛也・多賀正節・中川 仁(1977)菌類の性因子の化学生物学的研究(17)イネいもち病菌の完全世代形成条件の検討, その 2, 日植病報 43(1): 87(講要)
695. 上山昭則・津田盛也・西原夏樹(1978)いわゆるヘルミントスポリウム病菌群の学名。植物防疫 32(9): 361-368.
696. 宇井格生(1956) *Pellicularia filamentosa* による葉腐れ病とその症状。北海道大農邦文紀 2(4): 101-109
697. 梅山富雄(1977)ダリスグラスシードに麦角。名古屋植防月報 192 : 3
698. 和氣 彰(1963)カモガヤの萎縮性細菌病(追報)。神戸植防情報 311 : 19
699. 渡辺文吉郎・松田 明(1966)畑作物に寄生する *Rhizoctonia solani* Kühn の類別に関する研究。技術会議事務局・茨城農試指定試験(病害虫) 7 : 1-131 図版
700. 渡辺亀彦(1970)わが国における牧草育種の現状と問題点。畜産の研究 24(8): 1029 : 1032
701. 渡辺庫之助(1973)積雪地帯における裏作イタリアンライグラスの栽培法確立に関する試験 — イタリアンライグラスの品種(系統)の耐雪性について。牧草と園芸 21(7): 6-9
702. 渡辺竜雄(1934)英国禾穀類に寄生するフザリウム菌に就て。農及園 9(6): 1398-1399
703. 八重樫博志・Hebert, T. T. (1976)メヒシバいもち菌の子のう穀形成に及ぼす要因。日植病報 42(1): 74(講要)
704. 八重樫博志・西原夏樹(1976)いもち属菌の完全世代形成と子のう胞子の病原性。日植病報 42(3): 331(講要)
705. 八重樫博志・西原夏樹(1976)イネ科植物から分離したいもち属菌の完全世代形成。日植病報 42(4): 511-515(英文)
706. 八重樫博志(1977) *Eleusine* 属植物から分離したいもち属菌について。日植病報 43(1): 79(講要)
707. 八重樫博志(1977)いもち病菌の性に関する 2・3 の知見。日植病報 43(4): 432

708. 八重樫博志(1978)いもち病菌の分類学的整理への一考察. 日植病報 44(1): 67 (講要)
709. 八重樫博志(1978)ウイピングラブグラスとシコクビエから分離したいもち病菌の交配による病原性の遺伝. 日植病報 44(5): 626—632 (英文)
710. 八重樫博志(1979)いもち病菌の病原性遺伝について(2). 日植病報 45(1): 93 (講要)
711. 八重樫博志(1979)イネいもち病菌とシコクビエいもち病菌との交配による病原性遺伝. 日植病報 45(4): 515 (講要)
712. 山田直芳・但見明俊・寺中理明(1974)オーチャードグラス黒さび病菌の各種ベプトン培地における infection type structure(ITS)の形成. 日植病報 40(3): 169 (講要)
713. 山田豊一(1963)牧草の栽培と利用. 372p. 養賢堂. 東京.
714. 山田豊一(1971)今後の病害虫防除に望む. 植物防疫 25(1): 33—34
715. 山田 済・山本秀夫(1956)稲縞葉枯病に関する研究. 第3報, 寄主植物, 潜伏期間, 伝染力保持期間及びパイラスの越年について. 岡山農試臨時報告 55: 35—56
716. 山本昌木(1954)黒穂病罹病ハトムギの一般成分に就いて. 日植病報 18(3—4): 107—108
717. 山本重雄(1971)シバから分離された2種の病原菌に対する数種の薬剤の効果. 九州病虫研会報 17: 38—40
718. 山本孝弼(1973)シコクビエのウイルス病について. 日植病報 39(3): 218 (講要)
719. 山本孝弼(1974)シコクビエ (*Eleusine coracana* Gaertn)のモザイク病. 四国植防研究 9: 65—70
720. 山本 勉(1956) *Mycosphaerella* 属菌による麦類の一病害について. 中国農業研究 2: 33—35
721. 山本 勉・岡本 弘(1960) *Mycosphaerella* sp. による麦類の一病害, 特に病原菌の分類学的考察を中心として. 中国農試報告 4: 373—393
722. 山本 勉・江塚昭典・岡本 弘・桜井義郎(1963)中国地域における牧草・飼料作物の病害について. 中国農試報告A. 9: 135—149
723. 山元 剛(1966)イタリアンライグラスの紅色雪腐病について. 植物防疫 20(11): 495—496
724. 山本和太郎・丸山輝樹(1956)日本と台湾産の *Cercospora* 属の種類に認められ

- る異名同種. 兵庫農大研報 2(2) : 29-32
725. 山本和太郎(1960)日本産の炭疽病菌の種と属名の改変. 植物防疫 14(2) : 49-52
726. 山本和太郎・前田巳之助(1960)日本における *Cercospora* 属の種類. 兵庫農大研報 4(2) : 41-91
727. 山中 達・西原夏樹(1976)ヌカキビとウイピングラブグラスのいもち病. 日植病報 42(1) : 74 (講要)
728. 山中 達・西原夏樹(1976)キクユグラスのいもち病. 日植病報 42(3) : 331-332 (講要)
729. 山中 達・西原夏樹(1977)各種イネ科植物から分離されたいもち病菌の病原性の比較. 日植病報 43(3) : 313-314 (講要)
730. 山下修一・土居養二・与良 清(1974)白絹病菌, パールミレットごま葉枯病菌, ならびにイネごま葉枯病菌より見出された球形ウイルス. 日植病報 40(2) : 155 (講要)
731. 山下修一・尾崎久芳・大沢高志・久野拓伸・土居養二・与良 清(1978)シバ萎縮病 (*Zoysia dwarf*, 新称) から見出された小球形ウイルスについて. 日植病報 44(1) : 101 (講要)
732. 米山伸吾・岩瀬宏人(1972)セッカヤナギ, 芝生さび病の Plantvax, Vitavax による防除. 関東病虫研会報 19 : 69
733. [吉原 潔・西原夏樹](1960)長野県における牧草生育障害の実態(第1報) : 1-38. 長野県畜産課.
734. 吉川 功・朝倉鍊太郎(1963)芝草病害病原菌の生理生態. 第5報. シーサイドベントグラスに発現するブラウンパッチ(リゾクトニア・ブラウンパッチ)の各種土壌殺菌剤施用に基づく防除効果. グリーン研究報告集 5 : 53-87
735. 吉川 功・朝倉鍊太郎(1964)芝草の病害(その1). グリーン研究報告集 7 : 57-72
736. 吉川 功・高橋 実(1964)芝草病害の生態学的研究. 第5報. 土壌殺菌剤の西洋芝草 Brown patch に対する防除効果. 日植病報 29(2) : 99-100 (講要)
737. 吉川 功・朝倉鍊太郎(1965)芝草病害病原菌の生理生態. 第6報. シーサイドベントグラスに発現するブラウンパッチの各種土壌殺菌剤施用に基づく防除効果III. グリーン研究報告集 8 : 33-49
738. 吉川 功・朝倉鍊太郎(1965)芝草の病害(その2). グリーン研究報告集 9 : 43-46
739. 吉川 功・朝倉鍊太郎(1966)芝草病害病原菌の生理生態. 第7報. シーサイドベ

- ントグラスに発現するブラウンパッチの各種土壤殺菌剤施用に基ずく防除効果
(III). グリーン研究報告集 11 : 67-78
740. 吉川 功(1968)芝草病害病原菌の生理生態, 第8報, シーサイドベントグラスに
発現するブラウンパッチの各種土壤殺菌剤施用に基ずく防除効果(IV). グリーン研
究報告集 14 : 37-44
741. 吉川 功・小松光子(1968)化学薬剤の残効性について(その1). 殺菌剤TMTD
の経時変化. グリーン研究報告集 14 : 51-53
742. 吉川 功・小松光子(1969)芝草病害病原菌の生理生態, 第9報, シーサイドベン
トグラスに発現するブラウンパッチの各種土壤殺菌剤施用に基ずく防除効果(V).
グリーン研究報告集 16 : 53-62
743. 吉川 功(1970)芝草病害病原菌の生理生態, 第10報, シーサイドベントグラスに
発現するブラウンパッチの各種土壤殺菌剤施用に基ずく防除効果(VI). グリーン
研究報告集 19 : 47-55
744. 吉川 功(1971)高温時高らい芝草に発生した病害. グリーン研究報告集 20 : 52-53
745. 吉川 功(1973)芝草の疾病と防除. グリーン 31 : 92-94
746. 吉川 功(1977)病害防除. 日本芝草研究会編 総説芝生と芝草, 480 p.ソフトサ
イエンス社, 東京, pp. 242-256
747. 吉永虎馬・平塚直秀(1930) A list of Uredinales collected in the
province of Tosa. 植雑 44 : 627-667
748. 吉野嶺一(1964)北陸地方に発生するテオントの病害について. 北陸病虫研究会報
12 : 67-71
749. 吉岡昌二郎・岡部 俊・土屋 茂(1971)イタリアンライグラスの育成品種「ワセ
アオバ」について. 北陸農試報告 13 : 1-14
750. 吉岡 恒(1960)小麦黒銹病菌のアオカモジグサへの自然感染について. 九州病虫
研究会報 6 : 80-82
751. 吉山武敏・宝示戸貞雄・田中弘敬(1965)オーチャードグラス雲形病の耐病性に関
する系統間差異 日草誌 11(2) : 139 (講要)
752. 吉山武敏(1966)オーチャードグラスのクロサビ病に対する耐病性の系統間差異.
日草誌 11(4) : 225-226 (講要)
753. 吉山武敏・宝示戸貞雄・田中弘敬(1966)オーチャードグラスの苗令と雲形病発病
との関係. 日草誌 12(別号) : 19-20 (講要)
754. 吉山武敏(1966)オーチャードグラスの雲形病に対する耐病性の品種間差異. 農林
省畜試年報 4(昭39) : 60-61

755. 吉山武敏・宝示戸貞雄・田中弘敬(1967)オーチャードグラス雲形病菌の生理的特性. 1. 雲形病菌の接種温度. 接種時間と発病との関係. 日草誌 13(4): 264
756. 吉山武敏(1968)オーチャードグラスの苗の葉位と雲形病発病との関係. 日草誌 14(3): 204 (講要)
757. 吉山武敏・宝示戸貞雄・田中弘敬(1968)オーチャードグラス雲形病菌の生理的特性. 2. 接種後の温度と潜伏期間との関係. 日草誌 14(別号): 35 (講要)
758. [吉山武敏・寺田康道](1974)ネーピアグラス. 飼料作物の品種解説: 122-123
759. [吉山武敏・鶴見義朗](1974)ローズグラス. 飼料作物の品種解説: 79-81
760. 無名氏(1960)牧草や飼料作物に病虫害, 全国的に発生か. 朝日新聞 35: 7. 4 産業欄.
761. 無名氏(1965)防疫所だより, 牧草種子の輸入大幅に増加, 依然少なくなるらない麦角の混入 植物防疫 19(11): 478
762. 無名氏(1965)ブルーグラスに麦角, タマネギの輸入終る. 神戸植防情報 404: 96
763. 無名氏(1967)[昭和42年の新品種解説, オーチャードグラス「アオナミ」]. 農業技術 22(7): 333
764. 無名氏(1969)防疫所だより, 麦角混入で返送相次ぐ牧草種子. 植物防疫 23(11): 487
765. 無名氏(1972)昭和47年度決定の新品種トールフェスク, ホウリョウ(北海1号). 牧草と園芸 20(6): 表紙2
766. 無名氏(1972)昭和47年度決定の新品種トールフェスク, ヤマナミ(北海2号). 牧草と園芸 20(6): 表紙3
767. 無名氏(1973)牧草雪腐れ病の体系的防除法. 牧草と園芸 21(7): 5